

# 神奈川縣教育

昭和七年六月三十日發行

雜

第二八百八十六號

大  
5  
34  
34

## 卷頭言

遠藤前總裁閣下を送る辭

輿論を喚起せよ

大使命を持つて生れた大滿州國

縣下地理教育の現状

小學校國史教師用書上卷所載古人筆蹟の解説(一)

文部省高等小學唱歌解説

「學生思想問題」を讀みて

良寛禮讃

有教無類

文相訪問と全教大會の趨勢

想 華

情 報 (教育會報)

講習案内

編輯後記

Y S 生

會 根 藤 三

澁 谷 近 藏 八

香 川 幹 一 四

川 島 桂 山 八

深 山 桂 三

戸 倉 廣 三

河 東 追 牛 三

不 志 岳 人 三

Y S 生 三

豊

哭

三

六

二八	二七	二六	二五	二四	二三	二二	二一	二〇	一九	一八	一七	一六	一五	一四	一三
石井	桐原	山田	浅野	尾尾	野島	野島	野島	野島	山口	石井	石井	西山	野島	倉林	倉林
(天)	(天)	(天)	(天)	(天)	(天)	(天)	(天)	(天)	(天)	(天)	(天)	(天)	(天)	(天)	(天)

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

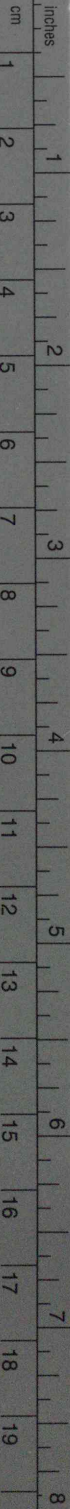


© Kodak, 2007 TM: Kodak

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak



内閣

大禮記録編纂委員會編纂 全一冊

A4判(官報) 六百五十頁  
挿圖寫眞 百八十餘枚

昭和  
大禮要録

定價金三圓

送 料 不 要

今上陛下登極ノ大典ヲ行ハセラレ、諸儀御滞リ無ク訖ラセラルルヤ、其ノ記録ヲ編纂センガ爲、茲ニ「昭和  
大禮記録」全二十五冊二萬餘頁ヲ完成シ、永遠ニ傳ヘラル。但該記録ハ浩瀚ニシテ複雑多岐ニ過グルモノアリ、此ヲ以テ更ニ大禮ノ意義、實況其ノ他大禮ニ關スル諸般ノ事項ヲ遍ク國民ニ周知セシメ、併セテ大禮ヲ記念シ奉ラントシ、別ニ稿ヲ起シテ「昭和要録」ヲ謹輯セラル。即チ本書ハ委員會職員協力シテ執筆ニ當リ且推敲ヲ重メタル成果ニシテ、一般便讀ノ利ヲ圖リ、力シテ齊一整頓ヲ加ヘ、大觀細讀兩ナガラ遺憾無キヲ期セラル。寔ハ子孫ニ傳フベキ盛儀ノ記録タリ。江湖ニ薦ム幸ニ一本ヲ座右ニ備ヘラレヨ。

申 込 所

東京市麴町區大手町

發行所 内閣印刷局

○當局官報課發賣掛  
○全國各地官報販賣所  
○全國主ナル書店

デ販賣致シマスカ  
ヲ御申込ミ下サイ

○ナホ一般ノ便宜上縣教育會ニテ申込ヲ取扱ヒマス 本會ヲ介シテ御購入ノ向ニハ  
定價ノ一割引ニナル特典ガアリマス

(電話九ノ内三五一九番)  
振替東京一九〇〇〇番

郷土教育 産業教育  
懸賞論文號

本會、昨年、郷土教育、産業教育に關するニ大懸賞論文を募り、その中審査  
入選せる六大雄篇を輯めて爰に文集とせり。

篤學なる青年教育學者等の雄渾なる文を通してその剴切博大の知見と、眞摯  
多年の經驗とにきかば、必ずや吾人を啓發して與へらるゝ所、益多かるべき  
を信ず、

希望の方には申込まれ次第頒布す。

一部送料共三拾四錢

神奈川縣教育會

# 教育者産業組合講習會

一、日時 昭和七年八月三日ヨリ 三日間

毎日午前九時ヨリ午後三時

二、場所 平塚市 第一尋常小學校

一、講習科目並講師

産業組合ノ理想及歴史

産業組合中央會

有元主事

産業組合ノ本質及構成

本會講

師

産業組合ノ事業及効果

同

産業組合聯絡機關

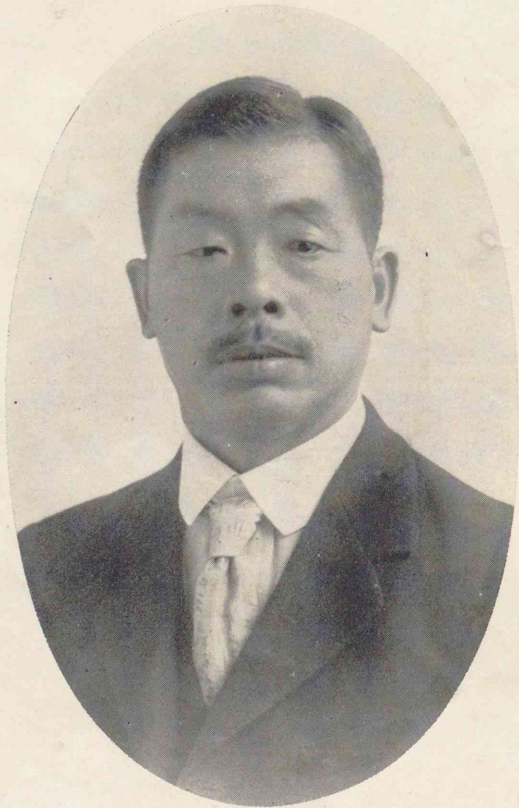
同

## 申込方法

七月二十日迄ニ縣廳農務課内

産業組合中央會

神奈川縣支會宛書面ニテ申込ムコト



再歐米教育視察を命ぜられし

神奈川高等女學校校長 佐藤善治郎 氏

水煙る八重の汐路を

外山學務部長

飛ばんかな鵬程四萬八千湮

佐藤善治郎

### 卷 頭 言

赫々たる武勳をあげて、滿洲及び上海派遣軍の、司令官代理植田中將以下九將軍は帝都に凱旋し、都民は熱狂して是を迎へ、畏も 天皇陛下には、直に九將軍に拜謁を仰せつけられ、具に軍狀を聞き召され、優渥なる勅諭を賜ふたのである。

時維れ昭和七年六月二十四日、梅雨恰も霽れて、天も亦凱旋將軍に光榮を降り注いだ、我が横濱市が植田、室、嘉村三將軍を驛頭に迎へ、遠藤知事、大西市長を始め、官民多數が、ニューグランドホテルに歓迎會を催したるは、實に先だつこと一日の二十三日であつた。

思ふに海陸の將士が、或は五寒骨を刺すの時、或は兵匪の猖獗を極むるの地、こゝに交々苦闘惡戦し、終に勝を制して、在留邦民の安寧を擁護し、國威を發揚したることは、我等國民の感激措く能はざるもので、如何なる辭も、是を盡すことは不可能であらう。

唯遺憾とするところは、白川大將以下數百名の將士が、屍を異邦に曝して、凱旋の列に在らざることである。

植田中將が、白川邸を訪れ、靈前に嗚咽して軍狀を告げたること、市民に對する謝辭の中に戰士將卒を傷むの切りなるを聞いて、我等は一層戚々の情に堪へない。

併し「軍部と國民との密接なる關係、是が我軍を勝たしたのだ」の同中將の一言、我等國民は手額にして、共に相慶すべきではないか。

### 遠藤前總裁閣下を送る辭

霖雨霏々として廂をうてども風搖がず、蘊暑深く室をとざして心氣鬱々たり、時に銀鈴の鏘々として鳴り響けるに、廳員の三々五々相連ねて足を議事堂へと運ぶ、物憂げなるその姿容と重げにみゆるその足取とは、これなん七月一日午後三時三十分、遠藤知事の告別式に臨まんとするなりけり。

總裁閣下の御挨拶の御詞の中にもありしが如く、一往一來、生者必滅、會者定離の掟とは知れど、閣下が知縣たる實に半歳の短かさ、突如として愛知縣に榮轉せられしことの、如何に吾人に驚愕と悲痛とを與へしことぞ。

閣下、天性潤達安祥、藹然たるその風姿に親しみありて、温乎たるその風格に懐しみを感ず、されば八百の廳員能く其の職に安んじ、能く其の技を樂しみ、拳々として閣下に仕へて宛然慈母に於けるが如かりしなり、宜なる哉、場裡肅然たる廳員をして轉た感慨哀別の涙に襟のうるほふを知らざらしめしことよ。

若夫れ閣下、黨人にして善く黨臭を離脱し、事に當り秉公持平の見を持して縣政を調理せられたる如き、是孕に仁政なり。

昔、孔子、子張に教へて曰く、能く五者を天下に行ふを仁と爲す、之を請ひ問ふ曰く恭寛信敏惠恭なられば則ち侮らざ、寛なれば則ち衆を得、信なれば則ち人任ず、敏なれば則ち功有り、惠なれば則ち人を使ふに足れりと、閣下仁政、正に斯の提撕を實にす、善哉百六十萬縣民は、閣下の徳風に隨喜渴仰せる所、蓋所になきにあらざるを知るべきなり。

閣下冀くは聖體を撫養し、方今、内外の國事、多難の危機、宜しく庶民厚生の道に勤しみ給ひ、閣下不易の名聲を青史に留められんことを待望して已まざるなり、聊か蕪辭を陳ねて送辭とす。



### 主張

### 輿論を喚起せよ

#### 教育者の存在とその影響

本會理事 曾根藤三

近年學校の活動がスポーツ方面と言はず學習方面と言はず將た又社會教化方面と言はず、一校の統一的現動が盛になつた結果であらうか一校を代表する『校長』なる職位に對して其の市町村民は勿論社會一般が注視重視するの傾向を觀取せらるゝやうになつたが之と同時に兒童父兄としては受持教員について多くの關心を有つやうになつた。之は學校の統一的活動が顯著になつたのと他面には學級の特異的活動の現はれが鮮明になつた爲め父兄との交渉や關係が段々深くなつた結果であらう。一は學校が幾十人の職員から成立つて居らうとも一の組織體として學校長の經營方針に歸制統一せられたる表現であり、一はこの統制の下に無くてはならぬ組織分子の個性表現であつて一言にして括れば教育の組織體としての學校教育の活動が逐次本調子に入つて來たことを物語るものであり、同時にその勢力が社會の他の施設に拮抗して決して遜色ないからではあるが之と共に世の進展に伴つて父兄や社會が子弟の教育に大なる關心を有つに至つたことも亦た其の原因の有力なる一であることを見逸すべきでない。何れにしても教育振興の嘉象として大に慶祝しこの趨向の益々顯著に至らむことを希待せられてならぬ。

然しながら余の今茲に唱謂せんとすることは之等活動の方向についてゞ無く又其の内容に關してゞも無い。校長及教員が父兄並社會より注視を受けなかつた過去時代は別として現在の如く種々なる意味に於て可なり重視せらるゝ様になつた時代に於ては校長としても教員としても其の父兄其の市町村民に對して我が抱懐する教育理想の實現を圖る上に於て種々なる研究を要すると共に種々なる困難を感じるものである。

此の困難の根底に深く沈んで影こそ現はさぬが言はず語らず邪魔になり教化の權威にも波及せんとするのは教育費中殊に教員に對する給與費の出所問題で特に校長は此の感を切にするのである。

#### ☒教員に對する一般人の誤感

『俸給は國家に奉仕した勞務に對する報酬として大權の作用により賜はるものだ。』と行政法の釋義其の儘に超然として教員は居らうとしても直接負擔する市町村民は決して左様にばかり考へない否なさうした性質であることも知らぬ者の方が多いかも知れぬ。嘗に父兄區民ばかりでなく出納當局果ては教員御自身ですら明かな辯識の缺けて居る者も無いとは誰にも請合はれまい。よし其の性質論は穿き違へないとしても實際負擔し仕拂ひして居る形は會社が其の雇つた社員に給料を仕拂ふのと酷似して見えるところから同様に教員を市町村の雇人の如く解する謬見に陥るのも免れ難い事實ではある。殊に數年來の如き深刻なる不況に脅えつゝある負擔民は一層忌まはしい感じを起し易い事情に置かれてあるからである。

『教育の權威はそんな物質問題によつて左右せらるゝものではない。』と力んで見ても實際には矢張り寸効も無い、何故なれば夫れは理論であるからである。理論は整然たるもので當初から判りきつて居り今も將來も揺ぐものではない。然しながら行政は事實であり教育は行政の一事實であるからである。

#### ☒國庫負擔の認識如何

茲で一寸述べて置くことは教員俸給費の一部が國庫負擔である大なる事實ですら一般民には知れ渡つて居ない。全國の

町村長や各政黨や累代の内閣が其の生命に賭けて争つた又將來も争の重點として居る義務教育費であるのにはや忘れられたのか往昔の如く市町村負擔とばかり思つて居るものゝ多いには驚かざるを得ない。單り一般人ばかりで無く豫算を議決する議員でさへ如何はしい者も無いと限らない。

先年町村方面に起つた教員俸給寄附強要問題の際或る町村の議員から俸給の五割を寄附せよと強要したと聞くが強要問題の因縁は其の町村より支給を受けて居るが故に起したものと解される。何となれば其の町村の居住者でも國縣費の俸給生活者に對しては寄附強要の事實がないからである。寄附問題が假りに妥當だとしても半額以上も國庫負擔のあることを知る者は俸給全額に對して標準を要むべきでは無い、即ち町村負擔額に對してのみ考へらるべきでは無いか、何となれば全額國庫負擔の者に對しては斯かる問題の起る因縁が無いからである。若し又収入の割合が過多なりとの理由に因るものなれば國縣費支辨其の他一般の俸給生活者に對しても要求すべきではあるまいか。

今此の寄附問題を論ぜんとするのはないが近い近く起つたこの問題を推しても俸給の相當大きな負擔が國庫によりなされてあることの明識が如何はしいと疑はれても亦止むを得ないであらう。

尤も國庫負擔の事は全然認識を缺いて居ないとしても町村の豫算に計上され之を通じて支拂はるゝことが判斷を誤つたり歳出の大きさに驚かされたり或は謬つた感情を醸生したりする原因とならぬとは限らないからではある。

#### ☒俸給費出所の考察

單なる金品の寄附なら兎に角俸給の寄附とか辭退とか言ふことは性質上成立たないことであり、殊に強要などは私權を冒瀆する甚だしい非違であつて何種の金品に對しても許さるべきでは無いから寄附の事は問題として考へる要は無いが、今後財界の浮動が如何様に變らうとも夫れは別として教員俸給の支給制度が現在の状態では教育振興の根底に一大障礙をなすことに變りは無い。如何にすれば此の障礙を除去し又は出来る丈け減殺せらるべきか。

曰く教員俸給全額國庫負擔である。

### 時局と國庫負擔

國民は深刻なる不況の淵に沈み其の蓄へ置いた幾分の弾力は既に全く盡滅し去つたのみならず久しきに彌れる不況の爲め山積する債務を如何とも爲し難く、今や全く方途を失つて生活線上を彷徨して居る狀に在る。實に急迫と云はふか危機と云はふか重大なる局面に逢着して居る。至尊が宸襟を惱まさせられて一再ならず首相、農相を召され實情を聞召すなどは實に恐懼至極の事であつて之が救済は一刻を緩ふするを容さないのである。舉國一致内閣は生れ、議會は覺醒して立ち時局匡救策樹立を任務とする第三次臨時議會は數ヶ月の後に開かれんとして居る。關係當局と云はず政黨幹部と云はず夫々機關を設けて會合又會合明策の案出に萬幅の努力を拂ひつゝあるのは素よりその處である。

匡救策は固より一にして足らずであるが國民負擔を軽減することは正に其の重要な部位を占むるものである。而して義務教育費國庫負擔額を増して全額とし之に因て生ずる餘裕を以て國民負擔の軽減に充當することは實に適切なる時局匡救策の一として眞先に擧げらるべきものではあるまいか。

近頃貴族院にも政黨にも此の主張を有するものが少くない教育團體は勿論全國市町村長も皆その主張者である。

教育家は勿論政治家に眞の熱意があり國民全體が熾烈に其の活躍の鞭撻に努むれば政府當局としても寧ろ實施の易きを覺ゆるのである。昨今内務省地方局にも此の議あるやに聞くが大都市との浴惠割合を考慮して實現に難色あるやの報導を見るのは甚だ遺憾とすべきである。薄資町村にして九割以上も支給を受けつゝあるものは實に異例であつて殆んど全部の町村は半額の支給に過ぎざるを以て之を國庫全額支出とする時は實に俵給負擔の免除となり地方町村の救済上有力なる一施設となるものである。若し夫れ大都市に對する浴惠過大を憂ふるとせば之が救済調節の方法は案ずるに従つて良案百出するものではあるまいか。

### 機會は來る

筆者は今時局匡救策を主題として攻究せんとするのでは無いが教員俵給費國庫負擔の問題は教育上の必要より其の全額

### 難事に非ず

に至らしむること年來の主張者であり、殊に近時世相の轉落は益々之が必要を切感せしむるの實狀に在るに拘らず増額すら遅々たる牛歩に焦燥を禁じ得なかつたが、今や時局匡救の一大國策を決すべき臨時議會を迎へんとする機會に到達したことは難局匡救と共に國民教育の根底に横はる一大障碍解決の時機として高聲疾呼その達成を萬望して止まぬのである。

國庫負擔額は現在八千五百萬圓であるから之を全額支出とするには略々同額の増加を要する譯で平時に於ては決して安易なる問題ではないが今や非常の時局に際遇し、聖慮を煩はすの恐懼すらある實狀に立至つたので舉國一致幾多の大策を提げて匡救の實を擧げんとして居る場合であるから一億圓に充たない増額問題などは幾多方策中の一施設に過ぎないので決して難事と云ふべきでは無い。

### 喚起せよ輿論を

若し夫れ舉國一致内閣は教育に大なる關係なしなど、嘯いて油斷大敵此の稀有の好機を逸し一案以て時局と教育とを匡救すべき所謂一石二鳥の明策を實現し得ざるに終れば噬臍幾年蓋し救はるゝの機會があらうか。

急速熾烈に輿論を喚起し時局を憂ひ教育を愛する政治家の奮起を促し此の懸案を達成することは民人の窮局を救ひ思想を善導すると共に國家百年の大計たる國民教化の根底に培ひ無限の暢展を策するの時務である。

輿論の喚起とその方法とは抑も之を如何にすべきか。

# 説筵



## 大使命を持つて 生れた大満洲國

澁谷近藏

近く發行する新裝創刊號に掲載の豫定で、四月寄稿のまゝを今日に及んだのであつたが、餘に遷延するのも却つて敬意を失する恐れありと考へ直し、且つ教科書取扱の實際から参考資料としての時期を失せん事と、偶々「滿蒙に對する教育方策」の懸賞論文應募の關係などをも慮かりて前意を翻し本誌に掲載することにしたのである。

### 緒言

滿洲國は三月一日に獨立を内外に宣言し、九日に首都長春で盛大な建國式を舉行した。清朝の末帝であつた溥儀氏が執政に就任され、翌十日國務總理以下立法院長、監察院長並に民政、外交、軍政、財政、實業、司法、交通の各總長を初め參議院議長、參議、各省省長等も任命されて、愈々大満洲國の獨立が成立した。建國に際して發せられた宣言に

政は道に基づき道は天に基く、新國家建設の旨は一に天に順ひ民を安んずる事を主とす。施政必ず真正の民意に詢ひ

私見を存することを容さず、凡そ新國家の領土内に居住するものは、皆種族の岐視尊否の分別なし。原有の漢族、滿族、蒙族及日本朝鮮の各族を除く外、即ち其他の國人と雖も長久に居住を願ふ者は、又平等の待遇を享くることを得と明記してある。又

王道主義を實行して必ず境内一切の民衆をして春臺に登るが如くならしめ、東亞永久の光榮を保ちて世界政治の模範となさんとす。その對外政策は信義を尊重して力めて親睦を求め、凡そ國際間の舊有の通例は謹みて遵守せざることなく、その中華民國以前各國と定むる所の、滿洲新國家領土内に屬するものは、皆國際慣例に照し繼續を承認す。商業を創興し利源を開拓するため我國家に投資を希望する者あらば、何國に論なく一律に之を歡迎し、以て門戶開放機會均等の實を擧げんとす。

とある。實に堂々たるもので理想的國家を建設しやうとして居るのである。十日より三日間舉行された建國祝賀會に際し、「東洋の樂土」「滿蒙の樂天地」「世界の平和は滿蒙より」など、標記されたポスターが、各地に掲げられたといふことである。

果して滿洲國が、東洋の樂土、世界の理想國となり得るであらうか。之を實現せしめやうとすれば、第一に地の利を得ねばならぬ。若し滿洲が地の利を得てゐない所であるならば、到底理想の國家となり得るものではない。第二に人の和を得なければならぬ。よし地の利は得て居ても、三千萬民衆の和合、殊に滿族、蒙族と日鮮族との折合がよく行かなければ東洋の樂土は出現し得られるものではない。

而して滿洲の實情は如何、地の利を得たる點に於ては、誠に言ひ分のない土地であるが、從來人の和を得なかつたが爲に、樂土たり得なかつたのである。然るに建國宣言によつて人和に關する蟠りが全然一掃されたのであるから、各民族の心の持方と態度とに依つては樂天地を出現せしむることは決して不可能ではない。

以下順を追うて滿洲國が如何に地の利を得て居るか、地の利を得たるが爲に如何に進歩しつゝあるか、又如何にせば人



和を實現し得べきか等につき愚見を陳述して、滿洲國の現状を紹介すると共に、新國家の地理教授に對し、御參考に供せんとする次第であります。

## 一、自然地理

### 1 位置 及 境 域

滿洲の緯度は我が奥羽以北に當るのであるから稍々北に偏しては居るが、世界の主なる國々の占めて居る緯度上の位置と大差はない。而して世界第一の大海で、太平洋時代と言はるゝ程世界の耳目を引きつけて居る太平洋から、世界第一の大陸である歐亞大陸に入るべき第一の關門たる位置を占めて居るのである。太平洋より亞細亞洲に入る門戸としては、上海方面もあり又青島、天津方面もあるが、何れも支那に入るだけの門戸であつて、大陸の關門ではない。然るに大連、浦鹽より入りて滿洲を通ずれば、支那は勿論西比利亞、中央亞細亞、歐羅巴等に對しても交通至便である。殊に我國より歐亞に入り歐亞に發展するには無上の好位置である。東京よりの直徑距離約三百里（千二百里）三等船車賃三十三圓約三晝夜で奉天まで行くことが出来る。飛行機なら大連まで一日半である。日本海、黃海渤海を一大港灣とすれば、滿洲は其の港市たるべき土地で、朝鮮は突堤、日本内地は防波堤となるのである。かく考へると一層位置上の關係が密接で、どうしても離れることの出来ない因縁を持つて居る様に感ぜられる。兎に角其の位置が地の利を得て居ることは明である。

然も廣大なる土地で、東北四省と既に加した蒙古の地（興安省となるらしい）だけで七萬七千方里（百二十三萬方里）もあつて我内地の三倍以上に當つて居る。察哈爾も加入の希望があり、其他の蒙古にも加はるものがあるかも知れぬから益々擴大するであらう。兎に角面積に於ても相當雄大なる國家である。

### 2 地

#### 勢

地勢に於ても誠に恵まれた國である。中央には南北に貫通する大平野があつて、遼河と松花江の本支流が之を潤して居

る。東西北の三方に山脈があるが、何れも餘り高峻なるものではない。中には丘陵性のものもあり又切れ目が諸處にあるので、交通を妨害することが割合に少い。

滿洲大平野は遼河流域の南滿平野と、松花江流域の北滿平野とに分けることが出来る。南滿平野は北滿平野よりも稍狭いが、それでも東西百五十里、南北四百里位あつて、我關東平野の四倍からある。そして周圍の山岳が低いから、平野中にあつては殆んど山が見えない。従つて太陽は眞の地平線に出没して居るので丸で海上の様である。此の廣い平野が既に大部分開墾されて特産物の産地となつて居る。

北滿の平野は南滿よりも廣大で、然も未墾の處女地が到る處に横はつて居る。既墾地でも一體に肥沃で殆んど肥料なしに耕作することが出来る。處女地に至つては全然無肥料で何年でも耕作出来ると言はれて居る。

南滿の大動脈となつて居る河は遼河である。遼河は西方遠く興安嶺から發し、最初は東北に向ひ次に東に屈し南に轉じて渤海に注いで居る。長さは約一千里あつて我信濃川の二倍半に近い。水量も相當にあるが盛んに土砂を流して來るので、河水は常に濁つて諸所に淺瀬を作つて居る。だから汽船の便は營口までしかないけれども、小舟は遡つて鄭家屯まで行くことが出来る。南滿鐵道の開通前は一萬餘隻の輸送船を有して、盛んに特産物を營口に運び出してゐたが、今日では其數を減じて三千餘隻に過ぎない。併し南滿の大動脈たる價值は依然として失つてはゐない。

北滿の平野を貫通して居る松花江は遼河よりも更に大きく、更に價值なる大河である。長白山脈中より源を發し西北に向つて流るゝが、扶餘の北方伯都納附近で、北方から南流して來る嫩江と合して方向を東北に變じ、哈爾濱、三姓等を経臨江に於て黑龍江に注いで居る。其長さは約一六〇〇里で、増水期には吉林まで吃水二呎の小汽船が通航することが出来る。嫩江も齊々哈爾濱まで小型汽船が航行出来る。哈爾濱邊は七呎以上の水深があるので、千噸以上の大船さへも航行し得る程の水運の便がある。

之等の河川の大缺點は冬季三、四ヶ月間結氷することであるが、その代り氷上を横行することが出來て交通上却つて便

利とも言へる。

長白山脈は壯年期の山脈であつて、かなり峻峻な山峯が聳え、深い谿谷も刻まれて居るが、高山性の山は殆んどなく、火山である白頭山が二七四四米の天空を衝いて居る丈である。然も斷層裂罅が多く河川が山骨を浸蝕して、到る處によい通路を開いて居るから、交通を妨害することが割合に少く、山深い處まで村落が發達して居る。

西方には長白山脈と平行して南西より北東に走る興安嶺があり、北方には之より分れて北東から南東に連つて居る小興安嶺がある。何れも老年期に近い山脈で高峻なものは少く、山頂多くは平坦である。東支鐵道の通じて居るあたりは殊に低く、横斷しつゝ興安嶺の何處なるかを感じざる程であるといふ。小興安嶺中には火山が多く、康熙六十年に突然噴出したことのある烏雲利爾冬吉山は殊に名高い。

以上のように東西北の三方を馬蹄形に走つて、城壁の如く連つて居る山脈があるが、交通を妨害することは少く、木材や礦物を供給することが著しいから、却つて利益を多く與へて居るといふことが出来る。

滿洲は殺風景な土地であると言はれてゐるが、決してそんなことはない。平野と山地との境界に當る處や、安奉線の通じてゐる處などの斷層線上には、裂罅に添うて溫泉が湧出して吾人に遊樂の地を與へて居る。熊岳城、湯崗子、五龍背などはそれである。滿洲の名山と言はれてゐる白頭山、鳳凰山、千山、大和尚山等の風光は、我國の名山に比して何等の遜色がない。安奉沿線や吉林附近の景色にも亦賞すべきものが少くない。

安東や大連、旅順には櫻花も栽培されて四月下旬から五月上旬には内地同様花見の楽しみも得られる。又滿洲特有のアンズの花や梨花なども亦捨て難い趣がある。殊に廣漠たる平野の風光や、日出日没の赤い大きな太陽を見る眺めなどは、内地では到底見られない雄大な景色である。

### 3 氣 候

海に臨んで居るのは唯南方の一部分のみで三方山に包まれて居るから、氣候は言ふまでもなく大陸性で寒暑の差が多く

雨量が少ない。だから氣候は不良であると誰しも連斷するのであるが、之れ又多くの人は認識不足の結果さう思ふので、決して不良なる氣候ではない。先づ夏季から言ふと、氣温の最高は東京、横濱と大差がない。昭和五年の最高温度は大連が攝氏三十二度、奉天が三十四度八、長春が三十三度七で横濱は三十三度四、東京は三十三度八である。暑い期間は六月中旬から八月中旬までの約二ヶ月間であるのに、内地は三、四ヶ月間も續く。然も滿洲は水蒸氣が少いから汗の出ることが稀であるのに、内地は濕氣が多いので蒸し暑くてたまらない。そして滿洲の暑い時期は雨季で、一ヶ年の降水量の約七割は夏の二ヶ月間に降るのである。それ故凌ぎ易くもあるし、又農作物の生育には極めて好都合である。滿洲に農産物の多い一大原因はこゝにあるのです。

冬季の寒さは内地とは比較にならぬ程です。昭和五年度の大連の最低氣温が零下十七度四、奉天が二十六度八、長春が二十九度九(例年よりも暖かつた年で奉天の最低は年々零下三十度を超えて居る)横濱は零下三度一であつた。零下二、三十度といふ寒さは經驗の無い人には想像もつかぬもので、風の吹く日などは寒いといふよりは痛いのです。だから今度の事變で、終日終夜不眠不休で曠野に戦つて下された軍人諸君の御勞苦は、如何ばかりであられたかと同情の念禁じ得ないと共に、心から感謝する處であります。併し普通の人が一時間や二時間外で働く位は何でもありません。女子供までが平氣で「スケート」をして居るし、幼稚園の児童も通園して居るので、さ程の苦痛でないことは明瞭である。そして暖房の設備が行き届いて居るから、室内で仕事をして居る者には何等の苦痛がない。滿洲で長く生活した者には内地の冬の方が餘程凌ぎにくい。

そして冬季の三、四ヶ月間は地上一帯が凍結して「コンクリート」で作つた土地の様になるから、田でも畑でも川でも沼でも車馬さへ通行の出来る通路となるから、九月、十月にかけて收穫した農産物を撤出する好期となるので、農民は此期を利用して特産物を賣出すのである。此の様に滿洲の氣候は寒暑の差こそ多いが、誠に凌ぎよい健康地で人類の活動に適した氣候である。

(つゞく)



## 縣下地理教育の現状

湘南中學校教諭

香川幹一

縣下に於ける小學校地理教育は私の知る範圍から言へば進歩してゐる。進歩しつゝある。その進歩しつゝある速度は急である。他の府縣の地理教育界を比較してさう言ひ得るのである。そちこちで地理研究会、研究主任討論會が催されてゐるが、その研究会の報告を読んで見て皆熱心に眞剣に研究されてゐることを知り得た。大いに喜ぶべきことである。各學校長も熱心で、研究主任も本氣になつて研究して居られ、縣當局も熱心で、東條氏の如きよい指導者がこれが任に當つてゐられる事などは我が縣の地理教授が進歩し又進歩しつゝある原因であらう。

昨年の暮に近い頃川崎で地理科訓導研究協議會が開かれた事は私も知つてゐる。その會には出て拜聴したいと思つたけれども出られなかつた。あとで二月號の縣教育雜誌で協議會の内容を知る事が出来たのでうれしかつた。この協議會は出席せる三市五郡の地理主任一五六名といふのであるから、先づ神奈川県下に於ける地理教育の現状をこの協議會の内容によつて知る事は偏見とはならないであらうと思はれる。この報告記事を読んで私は前に述べたやうに縣下の地理教育は進歩してゐると決論したわけである。

型の如くいろ／＼の行事がなされた後、質疑、解答、講演と題して高師の内田寛一先生のお話があつた。私はこの質疑に對して注意を向け、解答に對して自己を學ばんと無中で読んで見た。質疑に對しては感服し、解答に對しては寒心を持つたのである。我が最も親愛なる縣下の同僚諸子が如何なる質疑を講師先生に出したかを見るとその全部は不明であつたが、講師の解答せるものについては知る事が出来た。

「教科書の區分による取扱と地理區による取扱との得失如何」。

「小學校に於ける兒童學習上地理區の設定に就ては如何程の程度に依りて定むべきや」。

「地理科の有機的統合如何」

「要塞に於ける郷土地理の程度如何」等々

どれを見ても熱心に地理を研究し、行詰れる自己並びに學校教育を開拓せんとして提出せる眞剣な進歩せる質疑であると思ふ。これ等の熱心な質疑に對する講師の態度は少しく眞剣味を缺いてゐはしないかと、報告文の内容から考へられるのである。否眞劍味の如何は予の問ふ處ではなく、寧ろ純情なる科學の立場から見ても正鴻を得ぬ點の多々ある事を指摘したのである。部分的な小問題は度外視して地理教育の根本的問題に對する講師の意見が、吾々の如き地理學徒が直ちに從ひ得ない點に於て予はこゝに敢て本稿を草した次第である。

講師は最初に地理區は認めぬと云つた。その次に地理區は意味が不明瞭であると云つた。次に教科書にある區分は地理區であると云つてゐる。何のことかさつぱり判らぬ。次に私の一生涯には地理區は出来まいと云つてゐる。これだけの言葉で講師の地理に對する態度を推察する事は無理かも知れないが、少くとも熱心に拜聴する縣下二〇〇の教師に對して申すとは餘りに無慈悲ではないだらうか。

次に講師は地形即ち地理ならず、氣候即ち地理ならず、自然を自然としてではなく、人文を人文として別々に取扱ふことは地理ではなく、之を關係的に見るところに地理の使命があると述べてゐる。その次に 1+2=3 の三を見る事は地理ではなく、山ならば山を自然として切離して見るのは地理的見方とは云はれない。と述べられてゐる。これなども随分誤解されやすい。否矛盾した言葉であると思ふ。地形即地理でない事は吾々のやうな者でもよく判つてゐる。然し講師のこの言葉の意味は地形を學ぶ事は地理の一部を學ぶ事になつてゐないといふ事にとれる。山を山として見る事は地理ではないといふ例で察する事が出来る。然し乍ら先生自身は山を山として切り離して幾度か地理教育を受け、物産を物産として

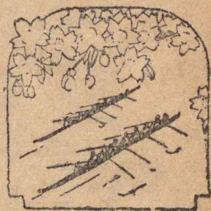
切り離して地理學を學べたのではなかつたか。而して尙その上に新しい地理としての卓見が芽萌えたのではなかつたか。分析して學び、綜合の方法を會得し、綜合を知つて分析を教授してゐる御自分の現在を顧みられる豫猶はなかつたであらうか。雄大な日本アルプスの構成状態を教へて造化の偉力に魅せしめる事は地理教授ではないだらうか。一プラス二の一や二のみを見て三を觀察する事の不要を説いてゐながら、自然(一に該當す)人文(二に該當す)を個別的に見る事が地理でない理屈がどこにあらうか。

「稻栽培には雨量及び温度が必要なのである」位の事は土臭い縣下の教員は誰だつて知つてゐる。子供だつて知つてゐるこんな事は地理的一般法則だなどと言葉六ヶ敷く言ふべき程のものではない。「その地方の特色を見ようとして其の一般性を没却する」特殊性を見ようと務めるのは一般性を見ても後でなければ見られない筈だ。五里歩まうとするものは一里歩まうと心掛けなくとも一里の道を歩む事は自然に、實現されてゐる。たゞ一里歩いたと聲高らかに叫ばないだけである。特殊性を見やうとする教師は一般性を肯定し看破してゐるから一歩進んでゐるのである。

「要塞に於ける郷土地理の程度」に對する解答であつても「なか／＼難物だ仕方がない」では解答になつてゐない。要塞地帯で難物なのは地理全體ではない。地形だけである。この地形も全部が難物なのではない。精確な高度を現はす事が出來ないだけの事である。何米と云ふ精確な高度は人文との交渉關係には極めて密接ではない。講師が難物だと云ふのは地形を地形學として學ぶ時に難物といふ言葉が出來るのである。地形を地形として學ぶ事が地理學である。事を肯定してゐられる。然るに前にはこれを否定されてゐる。精確な高度が讀めなくともなすべき仕事の數多くが地理學の中にある。精確な高度を特に練習したいといふなら、要塞地帯だけをとらないで、神奈川縣全體を郷土の範圍に擴張してもいゝだらう。位の解答はあつて然るべきである。「地圖を得る得られないといふ事は問題外であつて、實地を見ることだ目で見ると文なら少しもいけないと云ふものはない」とは何たる不用意な言葉だらう。きつと問題提出者は大いに見た事だらう。見えて見ぬいた上にこの問題を提出したに違ない。目で見ただけで物足りないと思へばこそその解答を願つたわけであらう。

う。要するに講師が講演された位のものであれば縣下の教員は誰だつて知つてゐる、地理學を知らなくとも永く世の中に生きてゐれば判る程度の解答である。問題の提出者は少くとも眞劍である勉強してゐる。地理學徒であるそれに對する解答としては餘りに不用意な無遠慮なしかも學者らしくない態度ではあるまいが、先生の講演を拜聴した多くの縣下の教員達があれで満足して居る上にお禮など言ふに到つては言語道斷である。親愛なる縣下の地理主任が、この講演によつて極めて益する所が多であつたと感謝するものならば、予が最初記した「縣下の地理教育は進歩してゐる」てふ見解は誤謬であらねばならぬ。

縣下には地理教育者にして素張らしい卓見を持つてゐるものが多い。私の知つてゐる所では平塚に井出氏や中丸氏があり川村に植木氏があり、藤澤に川井氏がゐる。中丸氏や井出氏は熱心家の内の熱心家である。兩氏は飯よりも地理の方が好きらしい。地理的知識については私などよりもづつと餘計に知つてゐる。驚くべき努力家である。縣當局や學校などではかゝる熱心家篤志家を助成する事にどうも餘り氣がつかないやうである。年が若いといふ所から何にも出來ないらしい年功者をして地理主任の椅子を與へてゐる。従つて小地理研究會の司會者などは勉強してゐない年功者が多い場合が多い。學校長たるもの、この邊を大いに考へて貰ひ度いといふのが私の言ひ分である。僅の俸給を割いて貴い書物を購入し、夜更るまで熱心に研究してゐる若い教育家と、徒に年のみ重ねる年功教員とをこの邊で區別しなくては勉強家の浮ばれる瀬がないではないか。若い教員もさうである。年寄の言ふことは何でも御無理御もつともしていつでも拜聴してゐなければならぬといふ理屈はない。外のことともかくも學問に對しては貴賤はない。未來ある縣下の若い教員諸氏に一言敢て苦言を呈した次第である。(圈點は編者附す)



## 小學校國史教師用書上卷所載

### 古人筆蹟の解説 (一)

川 島 桂 山

今般文部省に於ては、小學校國史教師用書を編纂し、一般教授者の便を圖られることとなつたが、その内容は一見して編纂委員の苦心の程が窺はれる堂々たるものである。就中圖表、挿繪、古人の筆蹟、晉の王羲之、唐の賀知章、我が國の聖德太子、嵯峨天皇を始め、所謂三筆三蹟の名蹟を寫真版として掲載された點は我等の興味を惹くものである。教授者は是等の挿繪、圖表、寫真等につき、一々兒童に専門的の知識を注込む必要はあるまいが、これ等に對して充分なる研究をなし、相當の理解を以て教壇に立つの用意がなければならぬ。以下本書所載の古人筆蹟について一々解説を試みたいと思ふ。聊かなりとも讀者の参考となり教授上の利便を得ば幸甚である。

さて第六十二頁の次に「法華經義疏」といふのがあるが、これは聖德太子の御筆蹟と傳へられるもので、我が國人の手になつた筆蹟の現存するものの中で最古のものである。太子が佛教に御精通なされて居たことは今更申上げるまでもないが、三經義疏の御著作によつても其の御造詣の程を窺ひ奉ることが出来る。三經とは法華經、維摩經、勝鬘經をいひ、義疏とは其の註釋である。故に法華經義疏とは法華經の註釋の意である。天平十九年牒上の法隆寺資財帳に「法華經疏參部各四卷 維摩經疏壹部 三卷 勝鬘經疏壹部、右上官聖德法王御製者」と記載されて居る。又小學校國史教師用書に載つて居る部分<sup>かた</sup>は四卷の中第一卷の初めの所であるが、法華經義疏第一と書いてある下に「此<sup>は</sup>是<sup>し</sup>大倭<sup>の</sup>國上宮王<sup>の</sup>私集<sup>也</sup>非<sup>三</sup>海<sup>の</sup>彼<sup>本</sup>」と記してあるによるも、是は正しく聖德太子の私集で、海のかなたの本、即ち海外から渡つて來たものと選を異

にするといふのである。用紙は黄麻紙といふのを繼いで用ひたのであるが、奈良朝時代のものよりは稍々質が悪く、各紙の長さは大體一尺五六寸位であるが、所によつては改竄の跡が甚しく、別に白紙を切り繼いだ爲め六、七寸位になつて仕舞つたものもある。而して文字や文章の添削は所々に見られ、又紙面を削り取り、或は裏面から切張りをしたりして容易ならぬ苦心の程を示して居る。これによつて見れば、この本が草稿として書かれたものであることは想像に難くない。

その書風は極めて古調を存し、その結體、運筆の調子は六朝風とうなづかれる特色が顯著で、近來熾燿を始め中亞地方から多數發掘された筆蹟と比較するに、先づ北魏の寫經などに近いものである。而もその一點一劃意を用ひざるが如く比較的輕快早筆ながらもよく筋の通つた強い筆觸の中に雅趣の豊かな點は却つて謹嚴一點張りの寫經などより一層味ひがあつて面白く、單に經を寫すといふ以外に作家の苦心が此處にも想像される。この書風から見ると是が奈良朝まで下らず、六朝風である所によつて日本に於ては先づ推古時代と推定せられ、前述の理由によつて筆者を聖德太子となす所以である。

#### 晋王羲之筆 (一五六頁の次)

王羲之、字は逸少、官は右軍將軍會稽内史であつたので又王右軍とも呼ばれた。東晉の元帝の大興四年(神武紀元九八一年)瑯琊の名家に生れ、祖父は尚書郎、父は淮南太守で共に書道に名あつた。羲之は幼より詩文書の才勝れ、而も風骨高く雄辯の大天才で一族の深く囑望する所であつた。一度び江南の地に渡るに及んでその風物の清美と、文物の隆んなるを喜んで、そこに隱栖の意を起した。永和九年三月三日、蘭亭に當代の名流を會して稊宴を催したることなどは千古の風藻として今に名高いことである。書は初め衛夫人に學び、長ずるに及んで柴碑を師として、備さに諸體の眞髓を究め、自ら一家の法を成し、遂に書聖とまで仰るが、に至つたが東晉孝武帝の大元四年(神武紀元一〇三九年)五十九歳で歿した。我が國に於ては奈良、平安朝時代には専ら王羲之の風行はれ、現今に至るも書家の景仰する所にして、何人も必ず一度は其の門をくぐるべきものとされて居る。斯くの如く羲之の書が我が國書道に及ぼしたる影響は甚大である。本書に掲げたる所以なきにあらずである。

然し而して本書に掲ぐる所のこの筆蹟は、數多くある義之の墨蹟中（但し肉筆は此の世に一點も存せず。皆摹刻したるもの、或は双鉤填墨といふて眞蹟を二重文字にとり、それに墨を埋めたもの）九月十七日帖又は孔侍中帖と稱さるゝもので、元は正倉院御物であつたが、今は前田侯爵家の所蔵にかゝるものである。中央にある延曆勅定の縫印は天應元年に内裏に進めしめ、延曆三年に還納せられた際の印だといふことである。左に釋文を掲げることとする。

頻有哀禍。悲摧切割。不能自勝。奈何奈何。省慰增感。

九月十七日。義之報。且因孔侍中。書想必至。不云領軍疾。復問。

憂懸。不能須臾忘心。故旨遣取消息。義之報。

唐賀知章筆（一五六頁の次）

賀知章、字は季真、唐は越州水興の人、玄宗皇帝に事へて秘書監となつた。詩書双絶、清談風流、當世に敬慕せられたが、後官を退いて道士となつた。本書に載せられたるは、この賀知章の眞蹟孝經の一部分である。これは早くから我が國に渡來したもので、元は近衛家に在つたのであるが、明治九年近衛家より帝室に献上せられ、今は御物となつてゐる。唐時代に於ける大家の肉筆は、地元の支那にも今では極めて稀であるのに、我が國に現存して居るといふことは誠に貴重なことであるといはねばならぬ。賀知章が才の俊はこの筆蹟の上にも現はれて居る。輕佻に流れず、浮薄に墮せず、何處となく濫籍の氣の漂ふてゐるところは其の人と爲りを偲ばしむるものがある。料紙の大きさは堅八寸六分、横一丈八寸あり、尙本書の寫眞では不明だが百四十一行に罫線を引いて、その中に書いたものである。左に釋文を掲げやう。

子曰夫孝德之本也教之所由生也復坐

吾語汝 體身髮膚受之父母不敢毀

傷孝之始也立身行道揚名於後世以顯

父母孝之終也 夫孝始於事親中於事

君終於立身 大雅云無念爾祖事修厥德

（體身は身體の誤りにて本書では不明なるも原本には體身の間の右側にレ印を附して身體と讀むべきことを示して居る）

尙又この筆蹟を明治十七年に模刻して墨帖として刊行したことがある。その帖尾に川田澁江先生の跋文があつて詳細に之について述べてあるから参考までに茲に記すこととしやう。跋文は漢文なれど讀易からしめんが爲めに特に和文とする

御府所藏の無款草書今文孝經一卷は、麻牋九葉を接粘し、堅八寸六分横一丈零八寸、罫は百四十一行に分ち、毎行四字より十六字に至る不等のもの、凡て千八百四十七字なり。開元本石臺本と對校するに（中略）頗る異同あり。而して筆法遒勁、鴻の飛べる如く、瀾の翻るが如く、肥瘦疾除、變化窮り無し。紙尾に小楷もて建隆二年冬十月重粘表賀監墨蹟の四字を題せり。亦醇古にして愛すべし。按ずるに建隆とは宋の藝祖の年號にて、賀監とは即ち唐人賀知章字は季真にて、玄宗に事へて集賢院學士兼秘書監たり。後に官を棄てて道士となり、自ら四明狂客と稱せり。草隸書を善くし、張旭と名を齊くす。事蹟は新舊の唐書本傳に具さなり。南唐季氏の澄清堂帖に知章が摹せる所の王羲之の書を刻せり。董其昌稱して曰く。宋元以後羲之の再生なりと。今此の書も羲之より脱胎せり。則ち賀監の眞蹟たること疑なし。且つ孝經は漢魏以來古今文並行し、唐の開元中、玄宗が注を選ぶには今文を用ひ、又元行沖等に詔して疏を爲さしめ集賢院に會して寫して中外に頒たしめ、天寶の初、重修して石に刻せしめたり。世に之を石臺孝經といへり。知章が集賢院に直たりしこと。開元天寶間に在りとすれば、此れは安くぞ其の稿本に非ざるを知らん。我が國の建學、唐制を參取せり。大寶中に孔鄭の二注を兼用せしめ、貞觀二年加ふるに玄宗の注を以てせしめ、經筵の開講、例としてこれを進讀せしむ。この時に當り、遣唐使あり、留學生あり、求法の沙門まで海を航して往來し、以て宋元におよべり。斷紙零牋此間に流傳せり。而も完好この卷の如きは世に未だ多く見ざるものなり。因りて宮内七等屬臣堀博に鈎摹せしめ、一趨一礎、眞を失はざることを努め、四たび寒暑を閲て、鈎版竣を告ぐ。蓋し書は六藝の一、孝は百行の宗、家ごとに一本を藏し、人ごとに數行を臨するも亦聖朝有文の澤なるかな。明治甲申紀元節宮内文學從五位臣川田剛謹書。

（以下次號）



# 文部省高等小學唱歌解説

(承前)

神奈川縣立平塚高等女學校教諭  
神奈川縣立厚木中學校囑託

深山桂

## 五、弟 橘 姫

(高女二)

日本尊に殉ずる、弟橘姫の麗はしい心情をうたつたもので、單に歴史的物語として扱つたのでは物足りない。物語と現代とを結びつけしところに生命がある。

### ◎歌 詞

○海のわたり 海 の 邊

○海神(ワタツミ) わだつみと濁つて讀む者あれど、  
古代は濁らず。

○わが代らんと 私が代らうと。

○八重 疊 澤山のたゞみ。

○もゆる火の

古事記……さねさしさがむの をのにもゆる火の

ほなかにたちて問ひし君はも

○あつき誠

熱 誠

○碑の……

走水に建てる碑。今より十三年前  
に建つ

第三歌詞が 歴史的物語と現代とを結びつけしこ  
ろである。

### ◎曲節及唱ひ方

(三時間)

○調 子 二調長 音階

○拍 子 4 正格小節

○音 域 嬰・ハより・二

○音 程 五度以内

○豫備的音程練習

此の科の進歩だと思ふ。試に其の和絃、轉調の一般を示して見ませう(尤も伴奏は一律ではありません事を  
お断りして置きます。)

## 弟 橘 姫



○本曲は歌詞に於て前述べし如く歴史主題を効果的に扱つてゐるが、曲に於ても藝術的の工夫が隨所に現はれ詠歎調の本領を發揮してゐる。随つて全曲、しんみりと歌つたらよ。

第二段にト長調の轉調がある(一、二小節)

G: V - V - 7 I 及び同段の四、五小節に

イ短調の轉調がある、初めのはト長調で

ハ - レ - ー - ハ - レ - ー 後のはイ短調で

ニ - ー - ハ - レ - ー - ハ - レ - ー とすれば明瞭になる。

此の外澤山、轉調の個所があるが明瞭ではなからず、猶、

四段一、二小節は注意すべきところである。

○伴奏を試る方のために御参考までに。

文部省では其の中に教授書、伴奏書等を出されると聞いてゐますが、伴奏の方は各自に作つて見られるのも

D: I - - V I - - V - 7 I IV V - - I  
 X: V - 7 I X: V - 7 I  
 X: V - 7 I X: V - 7 I  
 G: V I V G: I - V V G: V I V I V I  
 D: I IV - V IV D: I  
 X: VI - h V I X: VI - h V I  
 V 7 I IV - V - G: I - - G: V I - - G: V I V  
 X: V D: VI X: V D: VI  
 V 7 I V 7 I

○第二段、第二段は息次が正格小節のやうになつてゐるが、第三段の二小節からは變格小節の扱になつてゐる事は大いに注意を要し、此の曲の特異な點である。  
○第一段及第二段三小節目に (ハ・レ) (ハ・レ) とあるのは

(これはタイ)階名で練習する時は二ヶの音符として取扱ふ。

○二分音符及附點二分音符が澤山あるが何れも歴時正しく、特に終りから二小節目に此の曲中で、リズムの著しく變つてゐるから注意を要する。(和音参照)曲想は「熱情を以つて」ともしたい。

○發想は 書物の通りでよいが、少し細くきざみ過ぎてゐる様がある。

速度ハ。♩♩♩しんみりと歌ひたい。

◎第一歌詞 はしりみづのは (E) は口も喉もよくあけて二拍正しく、わたりにのわ (F) は明瞭に隨つて強くさわきのわは氣息を下方に向けて (角度を)

わたつみのつはアクセンを付して言葉を活かすこといかりはげしくははげしくの方を少し強く歌ふ様にそうして四段のノに入りたい。あやふし中程を  $\wedge \vee$  の様に心持強めればよい  $\wedge$  の山がふになつてゐるが、ふは暗い音、然も低い音になつてゐるから。

◎第二歌詞 あつきまこと のあは言葉上アクセントを

附して歌つてよい。

ひかりぞ みえし こゝの歌ひ方殊に注意を要する。みえしのえはつきり歌ひ廻すところは弱くなる。

◎第三歌詞 いしづみの 一、二と歌ひ方異なる。ほとりに たてば も まつのかぜ むかしやかたるも 同様。終りの とびかふ こゝは  $\wedge \vee$  の通に歌つて効果があります。

◎「附」 本歌曲は六ヶ敷きところ多し又それだけ味あり

### 六、鏡

(高二女)

◎鏡を題材として扱つた歌曲はまことに少くて中等唱歌を賣鏡といふのがある位のものである。

◎歌詞は二節から出来てゐるが、一、二とも何れも異つた意味のもので、一は源氏物語「須磨の卷」より取つたもので、二は今昔物語「二十四の卷、參河大守江定基送り來る和歌をよむ」より取つたものであるから、それを一應讀んで置かないと意味が分り兼ねる。

◎第一歌詞の大意は 源氏が須磨に忍んでゐた時或る時鏡に向つて髪も梳つてゐた側に紫の上かゝるその面瘦

せたのが鏡にうつつて見えた。その時の

源氏の歌

「身はかくて さすらへぬとも君があたり

と、讀んだ、紫の上は悲しんで

「別れても影だにとまるものならば  
鏡を見てもなぐさめてまし」と

返歌を讀んで、柱にかくれて涙にくれた。

これは戀の歌であるから、あつさり扱つて其のうちに歌の意味を明にし(深入りせず)てから歌はせたい。

◎第二歌詞は

今は昔大江定基朝臣參河守にてありける時、世の中辛くて……五月雨長く……女鏡を賣りに來た……定基家に入れて買ふ……五寸許りの篁の中に一首の歌が書いてありたり。

「けふまでと みるに涙のますますかゞみ

なれぬる影を人にかたるな」

定基、見て極て泣いて米十石を與へ女を車に入れて返した。家來をして家を探させた。

五條の油小路だといへり、鏡は貧女に返した。

◎第一の要釋は 知らぬ旅に白雲重なる遠方に別れるが、この鏡にあなたの影がとまつてゐるならば、せめてそれを見て心をなぐさませう。

◎第二の要釋は、今朝夕の生活に困つてゐる。昔を偲ぶ鏡が一つあるだけである。これも他人に賣らなければ生活出來ない一入悲しい事である。鏡よ、昔榮えた時にうつした影を人に語つてくれるな。

◎曲節及唱ひ方 (三時間)

○調 子 ト調 矩音階、

○拍 子 4拍子 正格小節

○音 域 ・ハより 變・ホ

○音 程 八度以内(減七度あり)

○豫備的音程練習

1 旋律的短音階



○速度は ♩ 短音階だからといつて餘りゆつくり歌つてはいけない。曲想は哀調を帯びて、隨つて弱く



歌ふところ多し。

○第一段、第二段に「ハ」がある。第三段三、四小節は心持「ハ」し第三段初めで直ぐ a tempo して三、四小節は少し強く心持で四段目は落ち付いて（ハは）はとだけ延長せよといふ事はないが人の感情は大體一致してゐるし、又リズムの方からも考へねばならぬから一拍位延ばしたらよいでせう。

○三段の三小節に「稍遅く」とあるが、これは四小節まで、第五段初めは矢張り a tempo せねばならぬ。四段の後半は少し強く心持

○五段は又心持落ち付いて減七度音程のところは殊に念入に、最後は延す必要はない。

○音階的上行、下行を味よく歌ふとほんとうに陶醉してしまふ様の曲である。

○初め正格小節であるが所々變格小節の形になつてゐるから注意を要します。

◎第一歌詞

かたみにのかたをはつきり、  
P.P. だがあの段であるから  
明瞭に出来る。

よはのつき しらくもの かじみをみても  
の歌ひ廻しをなだらかるすること。

めぐりあふひも のあふは「オー」の如く歌ふ。

◎第二歌詞

あした のあは口を開けてはつきりと、  
くさのいほのく は暗い音だが喉をあけて、さへは充分「アクセント」を持たせる。

むかしのかも「アクセント」通りに、  
けふ は二分音符の様に延ばす。

縣下欠食兒童への寄附

左記は縣下欠食兒童救濟費として本會に寄附せられました。

金七圓二十八錢

横濱市中區戸部町

戸部五丁目青年團殿

戸部六七丁目青年團殿

金五圓

三浦郡逗子町小坪

村田 玉 治 殿

隨感時評

「學生思想問題」を讀みて

川崎中學校教諭

戸

倉

廣

(一)



近時思想界の不安は其の極に達した。マルキシズムか、フアツシズムか、思想界の動搖、渾沌は正に其の極に達してゐる。之を反映するが如く學生間に於ても或は極右に或は極左に逆り所謂學生思想問題なるものが次第に猖獗を極めんとしてゐるのは甚だ憂ふ可き寒心事である。

一方之が研究或は對策は各機關を通じて相當の熱心さを以て遂げられつゝあるも、各研究家は他の批判を恐るゝか然らざれば自己の地位をかながみて容易に其の研究の結果なり或は意見なりを發表せぬ。よし發表するも頗る抽象的斷片的なるものか然らざれば一面の甚だ狹隘なる眼界を以てしたる一考察に過ぎぬ。又或は何等かの目的を以てしたる所謂御用新聞的の意見か然らざれば逆宣傳的の誇張なる

言辭に過ぎぬ。「思想は思想を以て」と言はるゝ此の問題に對し斯る有様は實に歎けかほしき次第である。

思想問題殊に學生思想に關する概括的の知識は總ての教育者若しくは教育に關係する者にとつては緊急不可缺の知識である。然るに學界に於ける前述の状況は教育者を驅つて悉く沈黙に陥らしめた。されば此の方面に關する恰好の書物は一層必要であり多數の渴望するところである。此の秋にあたり自他共に學生思想問題研究の權威者として許す東大の河合榮治郎、蠟山政道兩教授の共著になる『學生思想問題』が岩波書店より刊行されたことは眞に喜ぶ可きことであり一箇のオアシスを發見したるの觀がある。

(二)

本書は主として河合氏の研究に基くものであり、昨昭和

六年八月三日より同九日迄東京帝國大學に於て開催された文部省主催公民教育講習會に同氏が「現代の思想問題と教育者の態度」として講演されたものを訂正増補して發表されたものである。全篇四章に分れ第一章學生思想問題の性質、第二章學生思想問題の觀點、第三章學生思想問題の原因、第四章學生思想問題の對策となつてゐる。

河合氏は人も知るトマスヒルグリーンの研究者であり、我が國に於ける唯一の理想主義的經濟學者である。同時に氏は又ある意味に於て社會主義者である。(理想主義的社會民主主義者、同書七九―八〇頁)之に配するに所謂ジョンブル型の典型的紳士として知らるゝ政治學者蠟山教授を以てしたるは甚だ似つかはしき取組であり、學生思想問題を取扱ひ一般の教育界に捧げたはふさはしき事業である此の兩教授共同事業たるの一點に於て既に一般教育者は安心して『學生思想問題』を手にすることが出来る。

第一章は更に二節に分れ第一節『一般的性質』のうちに先づマルキシズムの定義を「第一には唯物辯證法の哲學、第二は勞働價值説を出發點とし餘剩價值説を中心として資本主義を解剖した經濟思想、第三は資本主義を變革して之

ばならぬ結果を生んだかを述べられてゐる所は注目に價する。

第三章『學生思想問題の原因』の中に『積極的原因』(二三―二八頁)として我が社會には純情なる青年の直視し得ざる社會問題があり、政治行政はと云へば腐敗して信頼するに足らず更に議會政治への失望は暴力革命主義を惹起す可き源泉となり、學界には深遠なる哲學なく、教育界の執りたる手段には唯物思想と一脈相通する所がある。さればマルキシズムの體系的魅力は學徒をして引きつけるものであると言はれる。誠に同感の點が多い。次に『消極的原因』(二九―三二頁)に於て述べらるゝ所は我々教育に従事する者の是非一考す可き所であり、消極的原因の缺陷も「結局初等、中等教育に従事する教員が、生徒を指導する思想能力を缺いてゐることに歸着する」(三二頁)と云はれてゐる。尙ほ『雷同化原因』として所謂ルンペンマルクス學生の由つて來るところを述べられてゐる。

第四章『學生思想問題の對策』の第一『當面の諸對策』(三九―四九頁)に於ては要するに第三章の「原因に」對應するところの方策が述べられてゐる。第二の『根本的

に代るべきものを社會主義に求めんとする社會思想、第四は社會主義を實現する方法として暴力革命主義と無産者獨裁主義を持つ政治思想」(一一―二頁)と述べ、英國流の社會主義と確然識別してゐられる。此の點は學生生徒の思想問題を取扱ふ者の必ず心す可き所であらう。更にマルクス學生を二種に分析して「一は眞正マルクス學生であり他はルンペン―マルクス學生である」(四頁)として眞正マルクス學生の如何に恐る可きかを數字を以て述べてゐられる。更に第二節『學生思想問題の性質』の中に學生が、「中産階級以上の家庭に育ち父兄の仕送りにより明日のパンを考へることなしに生活しつゝある」(九頁)にかゝはらず何故マルキシズムに迷入かを述べてゐられる所は甚だ社會人をして反省せしむるものである。

第二章の『學生思想問題の觀點』に於てマルキシズムを校正に批判してゐられる。一概にマルキシズムを排撃すべきものとせず反面に其の功績として「青年學生の社會觀」即ち「同胞への關心を強めた」(一八頁)こと及び好學の念を植付けたこと」(一九頁)を述べられ、而かも何故にマルキシズムが多くの弊害を醸し、不幸にも之を排撃せぬ

對策」(五〇―五四頁)に於ては「思想研究所の設置」の必要と其の方法とが述べられて居り、其の方法は中々具體的にして興味あるものなれど、今少しく研究を必要としはせぬかと考へられる點がある。例へば「思想研究所は政府より獨立不羈の立場に置くを必要とする」として東大の附屬とす可しと主張するが、之は結構なることなるも果して氏の考へらるゝ如く容易なるものであらうか。若し獨立不羈が保てる位ならそれは結局社會思想に貢獻する所なきものとなり好事家の研究す可き一學科單位となり終るであらう。さすれば折角の目的に反することになるし、目的を達せんとすれば必ずや政府の干渉を招くに至るであらう。次に『教育制度調査會の設置』を主張され教育制度の「改革案は勿論委員會の議事もすべて速記して公刊」す可きであるとは言論の自由を主張する、著者の言として尤もである。以上を以て本書の主要部は盡きてゐるのであるが更に、第一附録として『第一、各國學校數、學生生徒數比較表』『第二、日本共產黨關係被告人身上調査表』『第三、左傾學生生徒の身上に關する調査表』『第四、大學専門學校卒業者就職狀況調査表』が掲載されてゐる。之等の各表は現代

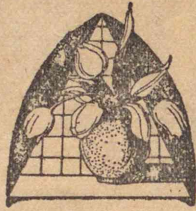
學生の各方面の事情を知る上に於て教育關係者にとりて最も興味ある而も甚だ重要不可缺のものである。此の調査表のみにても本書定價四十錢の價値はある。更に第二附録として河合氏の『國家社會主義擡頭の由來』及び『國家社會主義の批判』蠟山氏の『文明批判と思想問題』及び『思想問題と家庭の立場』なる四論文が輯録されてゐる。之等の諸論文はかつて帝國大學新聞業に發表されたものを其のまゝ本書に轉載したものである。されば『國家社會主義擡頭の由來』が『國家社會主義の批判』より後に發表されたるに拘はらず本書には論理的順序として先に掲載し而かも後者を指して「前稿」(九八頁)と云ふが如き不備の點はあるも時節柄注目に價する論文であり、熟讀す可き價値と興味とを有するものである。尙ほ蠟山氏の論說殊に『思想問題と家庭の立場』とは氏自身の家庭を引用しつゝ(一四八頁)説くところ切々たるものがある。殊に教授の令弟を知る人にとりては同情と感慨なきを得ない。何れにしる家庭の温情が如何に子弟の思想上に良き結果をもたらすかは教育者の深く銘す可き所である。

(三)

以上が本書の大體であるが之を通讀して最も感ずる所は

所謂「學生思想問題」として只左傾のみに偏したるきらひがある。勿論右傾に關しても「自己の思想を實現するに暴力革命を以てせんとし」「一部階級の獨裁主義を布かうとする」點に於て「マルキシズムと類似するものである」(三頁)と述べてゐられるが只之のみであり、而も之は只結論のみを記したるものにして、何故に右傾が斯る結果をもたらさざるを得ないか詳論されてゐない。論理的ギヤツプがある。只に論理的ギヤツプがあるのみならず、右傾に對する考察並に對策には何等觸れられてゐない憾がある、序文に「ファッシズスや右傾思想には間接に觸れるに止つた」のを河合氏の附録論文で「其の缺陷を補ふ」(序文四頁)とあるが此の方面は全く消略された憾があるは本書に對する期待の一部を相殺するものであらう。然し過去に於ける學生思想問題の大部分が所謂マルキシズムであつた所から見れば此の憾も止むを得まい。

何れにしる學生思想問題を如何に處理すべきかが現今教育界に於ける最大の難事であり最重要事であることは言ふまでもない。而して之が處理には全教員が相當の確實なる思想的知識を有せねばならぬことは之亦言ふまでもない。此の時にあたり學生思想問題研究の權威者が『學生思想問題』を公けにされたことは眞に慶賀す可きことである。一讀以て所感を述べ敢て推薦する次第。(一九三二・五)



# 良 寬 禮 讚

平塚高等 河 東 追 牛

なかつたから、いつ生れて、いつ死んだかといふ穿鑿をす  
る必要はないだらう。

二

私は良寬が好きだ。  
淳なこゝろもちで、童心をもつて、最後まで生きてゆかれた純情を尊く思ふ。  
追従と阿諛、偽善と迎合、あらゆる悪徳をそなへた腐爛そのものゝやうな徳川中期の世から遁れることが、消極的な彼の出家の原因だつた。偽らないで生きる、思ふ存分に生きることが、積極的の隠遁の刺戟となつた。  
彼は醜惡な世俗を超脱した。彼の出家こそそこに築かれた新しい世界だつた。従つて世間の名聞などは眼中になかつた。

彼は曇り勝ちな冬の永い北陸の邊土に生れたのだが、世間を超脱した彼は、時代を背景としての世間的な活動をし

彼はすぐれた詩人だと思ふ。けれど所謂詩人ではなかつた。歌詠みとして認められやうなどといふ望みは、勿論夢にももつてゐなかつたことだ。彼の歌こそ彼を全的に表現してゐるものだと思ふ。

私はこゝで良寬の童心を歌に求めようとした。  
霞立つ長き春日を子どもらとてまり  
つきつゝこの日くらしつ

いざ子ども手まりつきつゝこの里に  
遊ぶ春日はくれずともよし

いざ子ども山邊にゆかむ櫻見にあすともいはぢりもこそせめ

彼は子供が好きだつた。よく托鉢に出ては到るところで手毬や御彈を玩んでゐる童男童女の親しい仲間だつた。子供の心になりきることできる童心をもつてゐたのだ。

またもこよ草のいほりを忘れずばすゝき尾花のつゆをわけわけ

「またもこよ」と言つてゐる調子からみると相手は子供に違ひない。彼は或日子子供等を彼の草庵に伴つて、終日子供の相手となつて遊んだのだらう。

子と氣が付くと日影は長く、夕闇が迫つてゐた。

「ではさようなら、またお出よ。——私の家はこゝだからね……忘れずにお出よ。では氣をつけてね。」

さうしたときの事が想像されるが、如何にも素直な、やさしい情があふれてゐるではないか。

三

良寛にとつては、又自然は慈光の恩愛にみちた菩提境だつた。自然は彼をそのふところに抱きこんだ。

草のいほに足さしのべて小山田の山田のかはず聞くが樂しき

草のいほにねざめてきけば足びきの岩根に落つる瀧つせのおと

久方の雨のはれまに出て見ればかすみ渡れる四方の山々

自然のふところにつゝまれるばかりでなく、彼は彼の純心を自然の愛の中に溶けこませた。

春がすみたちにし日より山川に

心はとほくなりけるかな

飯乞ふとわがこしかども春の野に

すみれつみつゝ時をへにけり

ほとゝぎす汝がなく聲をなつかしみ

この日くらしつその山へに

山かげの荒磯の波の立ちかへり

見れどもあかぬひとつ松かも

つてくる。

みちのべにすみれつみつゝ鉢の子を

忘れてぞこしそのはちのこを

彼は恐らく托鉢の出がけに、麗らかな春の野邊に咲いてゐる菫の花に見とれたに違ひない。彼は鉢の子を傍におき無心に一輪二輪とつみ採つてゆく。ひとかたまりのすみれを打ちながめたとき。彼は大事な鉢の子も何も忘れてしまつたのだ。彼はつみ採つた菫を大事さうに家まで持ち運んだに違ひない。

彼は次の日の托鉢の用意にかゝつたとき、鉢の子のないに氣がついた。

「は、あ、昨日すみれを摘んだ野邊に忘れてしまつたんだあの大事な鉢の子を。」

私は良寛が好きだといつた。托鉢に出かけて鉢の子を忘れる純情——童心が堪まらなく好きなのだ。

(昭和七・五・一八)

ひさかたの空てりわたる春の日はいかにのどけきものにぞありける

見とれたまゝ、聴きほれたまゝ、感じたまゝの素直さ、純真さを飽くまでも正直に、彼はあらはしてゐる。最も凡人の真情ともいふべきものゝみを彼はうたつてゐるのだ。私は初めその平坦な馬鹿らしさを感じた。けれども接するにしたがつて、ある力をもつてひきづられていつたそして心をそゝらずにはおかなかつたのだ。

身をすてゝ世を救ふ人もますものを

草の庵にひまもとむとは

よく、彼の生活——草庵生活をあらはしてゐると思ふ。

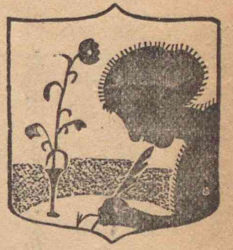
君が田と我が田とならぶ畔ならぶ

わが田の水を君が田へひく

またこむというてわかれし君故に

けふもほと／＼おもひくらしつ

美はしい朗々の響をもつて、私たちの心にひし／＼と迫



# 有教無類

橫濱市場 不 忘 岳 人

## 一、近頃滿洲問題、上海問題

等に對して如何に教育し、如何に認識せしむべきか、云々等で、座談會、或は新聞雜誌等に、報導されつゝあるが、一體吾人は如何に考へ、如何に兒童に認識せしむべきであらうか。實はこの間日本教育學會主催（文部省よりは特に佐野朝男先生出席）でかゝる座談會を開く故是非出席せよとの事で未席をけがした關係上、殊にその感を深くする。一體兒童は滿洲視察談、或は映畫、新聞等により、邦人の悲惨な死、或は單に軍人の眼覺しい活動等を見聞せし時如何なる印象を受くるであらう。

英雄主義的征服慾。侵略慾。或は單なる復讐心より來る慘忍性を激發、單なる犠牲等の感を咬りはしまいか。

正しき滿蒙に對する認識、上海事變に對する遺漏なき批

別。大國民的態度。共存共榮、武士の時宜的善處、等を正しく授け、正しく批判させる必要なきや。

## 二、インチキ有志問題

本紙四月號に見えてゐる此問題に對して、吾人も等しく痛感しつゝある所、或は前月の山梨縣教育の卷頭文の一節の、教員は落伍的人物の避難所たり得る心配なきか云々等抑も吾人の視野に入り得る所では、未だに教員を町村で所謂たのんで置く位の思想がありはしないか、又教員を下目にするのを得々然たる有志なきか。

こゝに於て吾人教員も反省する必要なきや、近頃所謂地方の權門に頼り、或は蔓を求めて、種々自己の立場を策動するもの果してなきや。又一面教師自身も所謂、先生様々の時代の修養より脱し得ざる人士なきや、單なる職業的意

識に變化しつゝなきや、又餘りに團體的統一所謂正しき意味での結束する意志に乏しからずや、正義に對する主張を通さんとする勇氣の欠乏なきや、父兄に教育の必要觀、教育は總べての職業の根本なる（源泉たる）事を自覺させる必要なきや、教權の割立を絶叫する日果して我が國には來らずや。

## 三、教育均等感の涵養

先生様、實は中等學校の入學試験を兒童に受けさせ度、わざ／＼田舎の姪を連れて來ました頼みます云々と。

或は某新聞紙上に某女教員、地方より斯々により、某市に榮轉と麗々敷、記載されてゐる。勿論吾人はその女史の事を云々するのではない。一は某大新聞迄が田舎より都會に出ることを榮轉と賞め、或は立身と讃へてゐる。又父兄も田舎と都會の學校を非常に云々してゐる。田舎の學校と都會の學校の差は、設備の問題か、人格養成の問題か、吾人は疑ふ。殊に青年處女に如何に之等の事が反映するか中々恐ろしい氣がする。

父兄も自覺心と自重心とを起し、教師もかく指導する必要なきや、若し勉強する機會が比較的尠いなら、その點を

父兄教師町村一致で考慮せば如何なる事も出來得る聖代ならずや、都會は遠き沖の白帆の如きものにして近づけば、ボロが見えるといふ事を授ける必要なきや。

## 四、本誌問題

縣教育の重大なる使命を帯びて一言一句ゆるかせにせず嚴選されてゐると思はれる本誌が、君 今月の某氏の論文に對する感想はどう、K氏曰く、僕の學校には實は來てゐぬのでなあ、吾人は啞然たるを得ぬ、吾人とても中央の雜誌の二、三冊は毎月購讀してゐるが、然も實際その土地への教育であり、その土地より、血と、汗と、涙で、書かれた所謂體驗より生れた、本誌の如きを餘り見ぬ。こゝにも燈臺元暗し、近くの神様より遠くの神様が有り難いかと、思はざるを得ぬ。

一體 新聞の廣告等に例へば某婦人雜誌等に、何々氏告白、何々嬢、ザンゲ録、等と記載されてあれば、その月の來るのを如何に待ち遠しい事か、よく職員室で聞かされる問題、若しかくしたら本誌も發展し購讀されるか吾人は呵そする。吾人は反省する必要なきや、

## 五、スポーツと、感覺的慾望

六、大リーグ戦の時、一日も前からあのグラウンド前に整列し、又夜通し、待ち続ける女性迄あると聞く、その意氣や壯とすべし、その行ひや悪むべきではないか。

或は米屋の子僧、米の配達を忘れて、所謂ファンに夢中夢が覺むれば、夕方とか、

餘りに現代人は感覺的慾望にはしりつゝなきや、物見高いは江戸のくせとか、兎角京濱地方の人士はかゝる傾向がありはしまいか。火事の時の野次馬連中、突發事件の際の黒山何れも何を意味するや、今少し『泰山崩るとも動ぜぬ人間』『靜中動あり』といふ人間の養成する必要なきや。

六、依頼心問題

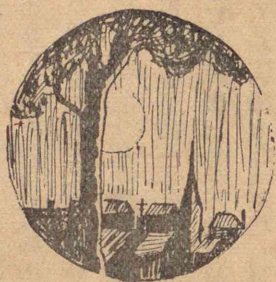
時々學校により學級により比較考査を行ふ、勿論必要、然し乍その際、所謂優等兒なるものと劣等兒なるものとの(智的方面)机の排列を考慮せざらんか、却つて、拜見による答案かいま見による答案等になりはしまいか。かくして劣等兒は日常の課業には怠惰の念を助長し、依頼心の念を醸し、唯試験の際さへ出来ればよいといふ様な、態度に出る恐れ果してなきや、これ人生の第一歩を墮落せしめ、人生の長路を、依頼心と、虚偽とによつて渡り歩かんとす

る。芽生をこゝにて養成する恐れなきや。中學校以上の學生のカンニング問題もかゝる點より考へて決して許すべき事ではなからうと思ふ。學生の本分學生の體面、學生の將來等を幾分まだ良心にある者に於ておやである。千字文の中に、「篤初誠美、慎終宣令」と實に千古の金言ならずや。之、吾人の教育は總べての根源、有教無類を堅く信ずる所以。近頃の感想の摘録より。(昭和七・五・一〇)

山崎博氏の居所

佛國ニース市の居住左の如し

Hiroshi, Yamasaki.  
THOS, COOK, SON.  
13 Pro--menade  
Des anglais  
NICE  
FRANCE



文相訪問と全教大會の趨勢

第十九回全國聯合教育大會は六月七日より三日間神田一橋教育會館に於いて開催された。全國は臺灣、樺太に至るまで代議員約百四十三名の出席をみ、頗る盛況を示して開幕となつた。今その會議の狀況を茲に摘録して併せて所感の一端にふれてみたいと思ふ。

全國町村長會との提携

教育會が多年の懸案であつた「義務教育費國庫全國負擔金」の問題であるが、今回は負擔金増額請願に關する件として第一號議案として提出(全聯教會)されてあるこれは言ふ迄もない一千五百萬圓の追加増額請願運動のことである。この請願運動は先年全国的に調印を求めた結果、實行府縣三十四、請願調印者一百一萬人の大多數であつた。更

に別働隊たる小學校教員會は全國負擔請願をめだして七十萬人の請願調印を了した。然るに此に聊か遺憾なることは不參加縣として七縣をみた事實であつた。帝都の多田理事の之が釋明に「代議員の怠慢か又は會の組織の不可なるに基因するのであるまいか」と、多田氏はその多くは地方教育會の現在組織に欠陥を認めざるものゝ如くであつたが、吾人はこの點大に同感するものである。

併て本議案に對して今回特に注意を喚起したことは、當臨時議會に「農村を救済せよ」の叫、澎湃として各處に蜂起しつゝある時吾人が嘗つても稱へ來つた教育費國庫負擔が農村救済の一良策であることの根本理由が、此際一層有力に明確となつたことであつた。即ち全國町村長會代表者

が態々大會を訪ねて共に本件を實現すべく本運動のため相互提携すべきことを約されたことである。

國庫負擔は單に教員側の理由からのみでなくして吾人が過去現在に亘りて農村の疲弊匡救の解決策として叫びきたつたものであつたが、從來はともすると町村長側と教員側と對立せんとする傾きがあつた如く、従つて本問題に關して接近を見てゐなかつたのであつたが、今回兩者が提携を策したことは賢明にして妥當な行動と稱すべきである。

第二號議案たる小學校長の俸給國庫支辨(二)並に市町村義務教育費特別會計法の件及びその他低資貸付に關する問題等につき(三)請願陳情することとなり、第三日、三十名の實行委員は二手に別れて文部、内務、大藏、農林各省並に貴、衆兩院各政黨幹部等を歴訪し、親しくその精神の存する處を陳情しむ。

鳩山文部大臣に九日午前九時二十五分、官邸に於いて面謁、小鹽及守屋兩委員は曩頃の小學校長奏任優待案に對し縷々謝辭を述べ了りて請願の件に言及し席に復へる。委員の陳述が教員俸給不拂や農村の疲弊に及ぶと、晴れ／＼しい文相の顔も流石に暗く感じられたやうである。

文相は徐ろに離席して極めて靜かに朗かに語り出された先刻も申しました如に、今日は自分の關係してゐる協議會が開かれますので、長くお聞きせを願ふ暇がありませんことを残念に思ひます。實は日頃から諸君と會合してゆつくり御意見をお聞きしたい考へてゐるのですが、先頃も高等女學校長會の時も、官廳常例のこれまでの訓辭の型を破つて私の卑見を述べたやうな次第で、私共の考へ及ばない處をお聞きしたいと思つてをるのです

「それで小學校長諸君の奏任待遇のことにつき只今は過分のお褒にあづかりて恐縮する次第であります。

御承知の如く社會はだん／＼複雑紛糾して参りまして、この先、一體どうなり行くものかと考へれば考へる程、深憂に堪えません。それには就中初等教育と言ふものをしつかりやつて行きたい。で大きい深い人格者を多數要するので、あゝしたことに致したのであります。

自分としては金の出してでもあつたなら、奏任禮服を一揃づゝお上げしたい者と考へてもみてゐます。

又請願陳情の御精神はよく解りました。出来るだけ各位の御希望にそふやう致すことに致しませう」……端麗、

瀟洒な文相の若々しい、ニコ／＼した口元から、齒切れのよい言葉が、輕快に流れるのであつた。吾々は文相の眞意を洞然たる純情をもつて直ちに捉へることができた時、そこに限りなき感激の涙のわくを禁じ得なかつたのである。

午前十時文相邸を辭した一行は直に貴族院請願委員長清岡子邸を訪問、清岡子に對して主として一の問題につき陳情、清岡子は之に對し左の如く語られた。

『請願書の文面に昭和七年度より増額を希望する旨書いてあるので、本件に關する委員中には本年度の豫算は既に決定、且つこの臨時議會も目捷の間に迫つて居るので、假令採擇しても何の役にも立たぬではないかと言ふ者があつて、此の問題は今猶審議未了になつて居る。今後はなるべく速かに位なことにして提出されては如何』  
依て實行委員は清岡子に對し、成るべく速かにの意味だから、一日も早く御採擇を請ふと述べ退出、それより衆議院に出席、午前十一時半院内に於て政友會幹部代表安藤正純氏に面會、主として(一)の問題につき陳情、續いて正午民政黨幹部代表荒川五郎氏に面會、主として(一)の問題につき陳情した。

實行委員の他の一隊は、九日午後文部省訪問、栗屋次官に面會(一)(二)(三)の三件につき陳情。栗屋次官は右に對し左の如く語つた。

『右の中(三)の問題については、何か名案なきやと普通學務局に、その調査を命じてあるが未だ具體案はないやうだ。しかし當局に於ては、以上三件とも充分考慮する考である』と

續いて内務、大藏、農林各省訪問、次官又は事務官等に面會。それ／＼その省に關係の事項につき陳情して退出した。

續いて右の委員中差支へなき者のみ居残り十日午前八時貴族院議員小林暢氏を訪問、同氏は貴族院に於ける(一)の請願分科主任なるを以て、主として(一)の問題につき陳情、清岡子と同様の事を申されたが只今より登院、本案を審議する事を約束され、實行委員等は退出

實行委員等は最後に野村益三子(貴族院に於ける請願書紹介者)今井健彦氏(衆議院に於ける同紹介者)邸を訪問、今回の請願に關し兩氏の勞に對し聯合教育會代表して謝辭を述べた。

訪問陳情の經過は、以上の通りであるが、以上各案に對する議會の模様及びその他一般の形勢を見るに、大體左の如き事實があつた。

(一) の請願は、衆議院に於て異議なく採擇貴族院に於ては委員會は通過したるも、本會議の議には附せられずに終了。

但し全國小學校教員會の提出に拘る小學教員俸給費全額國庫支辨に關する請願書は貴衆兩院を通過した。

次に紀俊秀男は六月十日午後の國庫負擔法委員會に於て鳩山文相に對する質問中地方黨弊の教育に及ぼす點より説き起して(一)(二)(三)の各項の精神を敷衍し、極めて適切なる質問意見を述べられたのは、非常に好かつた。

猶文部省に於ては、以上の(一)(二)(三)に對し、速に調査を開始、何等かの措置を講ずるに決した模様である以上の如くにして全額國庫負擔の問題は、實行運動として多少の効果はあつたのであつたが、今後在京幹部は機會ある毎に、この實行運動を繼續して行くもの考へる。次に氣勢を上げたことは地方政黨と教育關係については、

### 政黨の魔手を排撃して

### 一層教育會の活躍を促せ

現在の政黨政派に對しては舉世既に定論あれば、今更吹口を要せずとするも、所謂政黨者流とか又は政黨を背景とする狗鼠末輩の徒が、地方にありて事毎に教育に干渉し、甚しきは教職員の進退問題にまで、彼等の毒手を伸すことは決して珍らしいことではないのである。或は教育會の勢力を自派のため利用せんとするが如き、或は地方教育會學校後援會等の重要な地位に腰を据えて、自己の教育交渉を時の手段として、内實は選舉地盤の擴張にあるが如き、是等は教育その物を攪亂蠱賊しつゝあるので、政黨の魔手排撃の叫ばるゝ所以は即ち此にある。

吾人は今之を本縣の實狀に顧みるに、如上の事實が本縣に絶無であるとは認め得ないが、從來縣當局は黨人のその如き教權干犯に類する如き事に對しては斷乎として拒斥し彼等をしてその魔手を容るゝの餘地なからしめて來た。

併しながら仔細に是を檢討し來れば、或は市町村と謂ふ自治圏又は一學區域に於いては甚だ苦々しいこの種の事實を屢々みきゝしたのである。例へば一市會議員の感情を害したが爲めに、或は學務委員のお機嫌をとり損したが爲め

に、或は土地の財閥に拜跪することの疎忽なりしがためとか、或はそこらの有象無象があげる教員排斥の聲とかに驚かされて已むなく轉任を命ぜられた校長もあつたかにきいをる。

それ故又部下職員中悪性の者は巧みにそれらの名譽職にとり入り、彼等を使啖し卑利私欲に利用して校長や同僚を陥れることさへ珍らしくない。凡そ此等のことは賢明なる當局として固より事の實情に通じ是非善惡の一應は判まへてはゐるものゝ、執拗に夏蠅く彼等のわめくをきゝては、やがては帳尻に犬糞的の狂ひを生ぜしめたり、さては治安を紊して外聞を悪くする程のものないと、涙を振つて馬藪ならぬ善良な校長を屠ることさへあつた。

そこで當局が考へついた唯一の巧妙手段は校長級の任命前その學區の權勢家の意見を豫め徴し竊に諒解を求めるところである。徴しない迄も彼等に最大敬意の遠慮をめぐらす一事である。此に至つて校長の人選は、土地本位でも教育本位でもない不可思議な對人本位なのであるのである。

更に不思議なのは、ひら教員の採用でさへも、教育課長や視學の獨斷推擧によりて定められ、校長の意見は寸毫も

容れないといふ事さへある。思ひてもみよ、誰しも理想の經營を自己の責任として自覺せる校長に、已れの部下職員に對する人選權の自由すら與へないなど、謂ふが如きは、教育當局の暴戻もこゝに至つては寧ろそのキ印に近いものと言はざるを得ないではないか。これ然しながら復靜かに考へ及ぶ時は、その因つて來れる所は、矢張外部の壓迫からである。何々議員、何々役員などいふ連中が推薦し來る多くの教員志願者を十に一つは採擇してやらねばならぬ。血路としての必要政略でもあるが、

これ等は畢竟、政黨心理の壓迫からである。さらでも弱き者は校長である(中には或種の強い校長もをるにはをるが)上には頼みがない當局者を戴き、下には注文外れの百人千種、玉石混淆の數多の部下を管理しお上の命令には唯々諾々の忠實を拂ひ、お上の計畫に一向専念の忠勤を勵みて、凡ての不合理や矛盾を奥齒で喰み殺すか鵜呑みにして、それで茫然してゐることなら、やれ後援會の役員で候の、それ何々の幹部で候のと、矢鱈むしやに苦情を申立てゝくる愚連隊に、部下の過失の悉くを一身に引受けて矢面に立つては席の暖まる隙もあるまい。さうした





上句が、七重の膝頭を八重に折つて、誰にも彼にも御無理は御道理でござると、愛想よく外交上手に慣されてくるのが常である。それが積つて内心と外部、表と裏とにかなりの距りが出て来るようになるのは仕方もあるまい。だから世に教員程うそつきと弱い人間の多い社會はまたとあるまじやうに考へる。

かうした醜にくき事實は、政黨と言はず多年外部壓迫の脅威から來てゐるのではないか。

元來人間、個人としては弱い者なのだ。團結すれば強くなる。苟も社會人類の木鐸たる教育者が、政黨の贖々者流や、その狗鼠の徒輩に左右されては國家進展の前途に憂慮すべき者があると一端自覺しては、恐るべき何物もない筈である。大いなる團結の力、それは教育會、教員會、教員互助會である。吾人は必ずしもギルトの社會政策に倣はずとも、同一の職業戰線に同一の歩調で突進しつゝ、自己のため、同僚のため、社會のため、國家のため、將、人類のために盡すべきであるのだ。そこに中央教育會、地方教育會等の大改造の機運がさし迫りつゝあるのではない乎。大會の趨勢はかくの如くして閉幕された。

(Y S 生)

小學校に於ける職業指導實施原則(本縣)

- 一、職業指導實施の前提として兒童の基礎的陶冶の完成を期すること。基礎的陶冶の完成を期する爲め職業陶冶に留意すると共に教育の實際化生活化に努力すること
- 二、個性調査は職業指導に別個に考慮し、教育自體の効果の爲め利用し最後に卒業學級に於ても職業指導に利用すること
- 三、尋常科に於ては止むを得ず職に就かざるを得ざるものに對しては六年の時に行ひ、原則として上級に進學せしむること。職業指導は主として高等科、補習學校を中心として行ふこと
- 四、社會生活の情勢に鑑み特に健康なる身體、忍耐強き意志、勤勞を愛好し責任を重んずる職分精神を保持せしむる爲め適當な訓育鍛練に努めしむること
- 五、身上上缺陷者並貧困兒童には特に適切なる職業指導に留意すること
- 六、職業教育を受けしむるに努むると共に、職業教育を受けざるものに對しては特に教育的輔導に留意すること
- 七、職業指導擔任教師は、被指導兒童の適當職業につき或る程度の意見を有すること
- 八、總て兒童の幸福を本位にして指導すること、指導は個人的接觸に依る個別的指導を以て本則とすること、從つて指導教師は兒童の親しき友人となること
- 九、現代に於ては職業生活を見るに就業失業並仕事の方法の變動常ならざるものあるの實情に鑑み弾力性のある人物の育成に留意すること
- 十、地方の特殊事情を検討し郷土的事情に即した施設を講ずること

短歌

高座・大野 英 光

己の家は心安けれ、長々と足投げ出して晝を眠るも  
 村里のまひるひそけし、村道を行歸りするつばめの  
 ありて  
 大人びしその言葉つき、物ごしのかなしかりけり東  
 京の子は  
 この夜ふけ、雨止めるらし雨だれの折々立つる音の  
 ひそかさ  
 二週間の休を終へて相會ひし教へ子なればいとしか  
 りけり  
 たまさかに出できし街のにぎやかさめぐるまじさに  
 心瘦れつ  
 ほと／＼に心疲らす思ひごとつとつと吾は頭をふる  
 も

津久井・牧野 小山華雲

青葉

雨雲は晴れんとすらしそよ風に青葉のゆれて雫音する  
 霖雨止みて庭に小池の數幾つ子等は集ひて希望み語  
 らふ  
 風吹けば庭の葉櫻ゆれてけり。黒き實小さく見えか  
 くれして  
 葉櫻の茂みのかげの花園に雜草とり居ればホウセン  
 カつぼみもちて赤き葦見ゆ  
 青葉道幼な子連れてさまよへば朗らにひゞく老鶯の  
 聲  
 茂り合ふ青葉がぐれにチヨロ／＼と音する泉酌みて  
 懋ひぬ  
 歌はんと、靜かに迎る夏山路青大將に息づまりけり  
 緑濃き山ふところの谷川に小波たちて河鹿なくなり

蜀 魂

目も遙るに緑りのしとね打ちつゞく彼方の峯にほととぎす啼く  
 絹をさく聲する方を尋ねれど姿は見得ず青葉嵐  
 ほととぎす、さまで啼くまじ今吾は歌詠まむとて惱み居るなり  
 其聲をラヂオに送り忙しき都の人を慰めたきも  
 小夜ふけてしとねの中に物思ふ吾に歌へとほととぎす鳴く

(昭和七・六・一一)

誌上俳句會

貞廣一燈選

茂 り

白浪の小磯小島が茂りかな  
 水 蔭

ちよろ／＼と水の音ある茂りかな 華 雲  
 下蔭に白百合咲ける茂りかな 同  
 虫とびし草の茂りを探しけり 湘 雪  
 黄昏や茂りの島に浮く灯 房 男  
 瀧の瀬のしぶきに揺るゝ茂りかな 六 五 生  
 生マ／＼と木々のふくらむ茂りかな 晚 秋 生  
 高原の氣を吸ひつくす茂りかな 同  
 恩賜公園の立札白き茂りかな 野 の 人  
 街路樹の茂りに映ゆる夜の街 葉 影  
 行くほどに道の狭まる茂りかな 同  
 看經のもれてひそかや夕茂り 早 葉 子  
 奥多摩の景きはまりて茂り哉 同  
 旗白く流る茂りや関の聲 草 助  
 お手植の松年毎の茂りかな 日 の 出  
 壽碑圍む楠の茂りや朝晴るる 同

○

ラヂオ體操大神宮の茂りかな 南 柯  
 碧潭の日ざし遮ざる茂りかな 六 五 生  
 物の實の點々赤き茂りかな 華 雲  
 その蔭に土工寝そべる茂りかな 湘 雪  
 瘦牛の大きく喘ぐ茂りかな 草 助

五 客

書見の眼茂りにそつと移しけり 南 柯  
 村雨の音を見送る茂りかな 晚 秋 生  
 ほそ／＼と茂りに消ゆる山路かな 小 壺  
 旅の窓雨の打込む茂りかな 野 の 人  
 勇み合ふ伏籠の鶏や草茂り 同

三 光

騒ぐ子の聲こもらせて園茂り 小 壺

地

甲羅乾す龜にもれ日の茂りかな 早 葉 子

天

石 廊 崎

茂り間に望樓白き岬かな 六 五 生

雜 吟

山獨活の花黒き蝶のよぎりけり 葉 影  
 来ては／＼蜻蛉椽に影つくる 同  
 しゆつとふくらムネに一家集ひけり 湘 雪  
 門口に夏羽織の塵拂ひけり 同  
 風鈴にいさゝか風の見えて來し 同  
 ○  
 風鈴や鳴門の浪の餘り風 一 燈  
 風鈴や月が風吹く濱廂  
 風鈴や鯛寄す須磨のうしほ風



情 報

教育會報

中郡教育總會

中郡教育總會は六月十九日午前十時より大磯小學校に於て開かれ。出席會員三百餘名來賓多數を迎へて頗る盛會であつた。定刻會長開會を宣し、別項豫定の如きプログラムにより施行され

- 一、開會の辭
一、勅語奉讀
一、事業報告
一、表 彰
一、會長の式辭
一、知事閣下の訓辭
一、來賓の祝辭
一、閉會の辭

て親しく觀察された多趣味の談話に多大の感興を湧かし四時過散會した。

當日の被表彰者左の如し

教育功勞者芳名

- 二十箇年勳績 吾妻尋常高等小學校訓導 加藤 牧三
同 南秦野尋常高等小學校訓導 水島 萬壽
同 北秦野尋常高等小學校訓導 小澤 永藏
同 平塚第一尋常高等小學校訓導 杉 崎 一 郎
同 國府尋常高等小學校訓導 柳 川 二 十 治
同 大野第二尋常高等小學校訓導 石 井 喜 一
同 大田尋常高等小學校訓導 山 田 倉 吉
同 曾屋尋常高等小學校訓導 三 竹 兵 治
同 國府尋常高等小學校訓導 湯 口 英 藏
同 吾妻尋常高等小學校訓導 尾 上 保 治
同 豐田尋常高等小學校訓導 今 井 靜 江
同 神田尋常高等小學校訓導 小 菅 勘 治
同 金目尋常高等小學校訓導 兼 校長 和 田 實
同 同 訓導 關 谷 憲 造
同 高部屋尋常高等小學校訓導 山 本 輝 夫
同 比々多尋常高等小學校訓導 青 木 茂
同 曾屋尋常高等小學校訓導 中 村 正 義
同 吾妻尋常高等小學校訓導 二 見 八 郎
同 大野第一尋常高等小學校訓導 鈴 木 愛 三

Table with columns for school names (e.g., 三ヶ年皆勤, 城島尋常高等小學校訓導) and names (e.g., 今井二三衛, 伊奈長司).

全國聯合教育會情報

六月七、八、九日の三日間一橋會館に開會せられた全聯教育會の決

議事項左の如し

- 第一號議案 義務教育費國庫負擔金額請願に關する件
本請願書は六月二日兩院に提出、衆議院請願委員會は既に之れを受理せられたり依て本委員會は實行委員を擧げ今臨時議會に於て採擇せらるゝ様兩院請願委員及政府當局並に政友、民政兩黨本部に陳情して極力其採擇に努力し更に當置委員に委託して次の議會に於て右請願の實現に最善を盡すこと
第二號議案 本案は議會に請願する必要を認めず直接文部、内務兩省に陳情すること
第三號議案 義務教育費國庫補助金を教員給補助と改め其支途を明瞭にせられんことを其筋に建議すること
義務教育費國庫負擔法の精神に基き教員給支拂の爲に特別會計法を設定せられんことを文部、内務、農林三省に陳情すること
以上三案の陳情委員は同時に下記に二項につき陳情すること
一、教員給支拂の爲極度に疲弊せる町村に低利資金貸付の途を講ずること
二、農村の窮狀を充分徹底する様説明すること……報告
第四號議案 小學校教員の年功加俸を公立學校と同様にせられんことを其筋に建議するの件 (即可決)
第五號議案 教育に及ぼす地方政黨の弊害を排除するの件
今や我が教育界は政黨政派の爲め、その神聖を冒瀆せらるるの事例少なからず、よつて之れが弊害を矯正せんが爲め決議すること
左の如し
一、政黨の地方教育に及ぼす弊害
1 學校設置廢合に關し適正を得ざること

- 2 教育、行政當事者の進退に關し不當の干渉壓迫を加ふる
- 3 學校教職員の進退に關し不當の強要をなすこと
- 4 教育會の勢力を悪用し、これが發展進歩を阻害すること

- 項と認む
- 一、矯激なる思想と不法なる暴力行爲とを排し穩健中正なる思想の涵養に努め、一層國體觀念を明徹ならしむること
- 二、社會各方面に於ける對立抗爭の氣風を矯正し協同融和の美風作興に努むること
- 三、國家財政の窮迫と國民經濟の窮狀とを十分知悉せしめ兒童生徒は勿論一般民衆に對し經濟的生活の自覺を與へ之が打開に努めしむること
- 四、選舉の腐敗及政黨政治の現狀等に鑑み立憲自治の精神を涵養し公民的訓練の徹底に努むること
- 五、不純なる權勢に捉はれずあくまで教權の確立を保ち以て地位の向上を期すること
- 六、滿蒙の現狀に對し正しき認識を與へ且つ我國との關係につき適當なる指導をなすこと……(報告)

- 1 教職員は自重反省して教育の神聖を汚す如き態度をとらざること
- 2 各教育會は眞に教育擁護の使命を果し得べく正當なる組織に改むること
- 3 教育會員は一致團結以て政然教權擁護に任ずべきこと

第六號議案 青年學校促進に關する件 (報告)

第七號議案 師範教育改善促進に關する件 (可決)

- 一、思想惡化の原因は多岐にして短時間に調査を結了すること困難なり、よつて帝國教育會調査部に委託し中央に於ける各方面の權威者を網羅し徹底的調査を行ふこと
- 二、調査したる結果はパンフレットとなし必要なる各方面に配付し、各府縣教育會雜誌にも掲載して教育者は勿論一般國民にも周知せしむるの方法を講ずること……(報告)

- 1 日華教育會議を提唱すること
- 2 中華民國留學生を請致優遇すること
- 3 日華兒童の交遊を行ふこと
- 4 日華教育者の相互視察を勸奨すること
- 五、中華民國人に對する認識を十分ならしむる様努むると 報告

第九號議案 我國現時の狀態に鑑み教育上特に留意すべき點如何

我國現時の狀態は經濟上思想上政治上實に時局艱難の秋にして教育上考慮を要するもの多々あり、就中左記各項は特に重要な事項と認む

- 一、文部省、外務省に陳情して政治的解決を求むること
- 二、萬國教育會議に提出すること
- 三、在邦中華民國人に對し我國民は一層誠意を以て之を待遇する様指導勸誘すること
- 四、一層日華教育親善の途を講ずること

第十一號議案 日滿教育の連絡提携に關する良法如何

一、對滿精神涵養上留意すべき事項

- 1 滿洲立國の精神及其の組織を教科書に採録して認識を明確にし且つ我國民精神との調和につき周到なる注意を拂ふこと
- 2 人類愛の精神に基き日滿兩國民の互讓親和生活依存の實を擧ぐるに努むること
- 3 日滿兩國民は相互に自重し相敬愛し誤れる優越感を懷かざる様指導に努むること
- 4 滿洲國の産業經濟に關する資料並に其の人情風俗等に關する事項を特に教科書に採録すること
- 5 滿洲國に移住せんとする者に對しては特に適切なる教育指導機關を設置すること

二、在日本人の教育上特に留意すべき事項

- 1 在滿日本人小學校兒童の教育は教育勅語を奉體して日本人たるの自覺と氣品と體力とを養ふべきは勿論滿洲立國の精神を體し其の天地に親しみ之が生活に慥れしむること
- 2 誤れる優越感は斷然之を排除するに努め滿洲國人の美點に順應し其の缺點を是正して共存共榮を圖るの途を講ずること
- 3 滿洲國文化の建設に貢獻するの信念を養ふこと
- 4 在滿日本人小學校其他の教員選任に注意すること

三、滿洲人教育上希望すべき事項

- 1 排日排他主義教育の絶滅を期し進で親日教育を鼓吹する

こと

- 2 日本の國情民俗を諒解するに足るべき教科書を編纂使用し且つ日本語を自由に話し得る程度の教育を施すこと
- 3 日滿兩國の關係を正當に理解せしむるに足る教育資料を蒐集し且つ之を活用すること
- 4 滿洲立國の精神を普及徹底せしむるに足る根本的教育方針を樹立すること

四、滿洲國社會教育に關し希望すべき事項

- 1 社會の秩序維持、習俗の矯正、衛生思想の普及、日滿提携の偉大性等を映畫とし之を以て一般民衆啓蒙の資料とする
- 2 講演會、講習會、新聞雜誌、ラヂオ等に於て充分の指導をすること
- 3 男女青年團等の組織を奨励し適切なる訓練を施すこと

五、日滿教育交換に關する事項

- 1 日滿教育會を開くこと
- 2 日滿相互に教育視察をなすこと
- 3 日滿兒童生徒交遊の機會を多からしむること

六、實現方法

- 1 關係官廳、滿鐵會社、並に滿洲國外交部の協力を求むること
- 2 日滿兩國新聞雜誌並に關係有力者の協力を促すこと
- 3 本案の實現に關しては在滿日本人小學校、關東州小學校其他の協力を望むこと……(報告)

第十二號議案 教育界の輿論を議會に反映せしむるに最も適切なる

方法如何  
 第十三號議案 從來全國聯合教育會に於て議決を経て其筋に建議したる事項中最も重要なものを選び實行委員を擧げて其實現を圖る件

第十六號議案 以上三案

全國聯合教育會々議等を今一層有効に且つ實効あらしむる様御高配を煩はしたい。立法府に教育界の輿論を反映せしむ之れが實現を圖る方途は數多あるべしと雖も詮ずるところ貴、衆兩院議員に教育尊重の精神を高潮すると共に教育者の實力を知らしむるの要あり、是れ一に國民教育並に之に準ずる教育に俟つべしと雖も當面の急務としては議員各位に對し其の地方の教育會幹部が教育界の輿論並に教育會の決議を諒解せしむることに努め、又聯合教育會中央部に於ては常に政府當局と接觸を保ち其大會を開くや影響最も深甚なる府縣教育會幹部の熱烈なる陳情運動を助成し特に新聞の援助を一層多く得て本會の要望を廣く國民に知らしむべし。其等を期するには先づ對內的に各教育會は各々結束を固くし其の統制を保全せざるべからず、第一に各教育會には其重要な役員特に首腦部に適材を得るは勿論苟も政變によりて其地位の異動を見るが如きものは遠慮すべく、第二には將に擡頭せる教員會との關係を考慮し更に教員外會員の増加をはかり議案の如きも進んで廣く國民生活の實際に即するものを加へ又聯合教育會と地方教育會との關係を密接にして特に地方よりの代議員中には少くとも一人は毎回同一人として以て會の内容に通り會務の執行に便益あらしめ更に會の組織は之を法人組織とし地方教育會は一面之れが支部會たらしめ以て統制を保全し、總裁を戴き會長は政黨政派に超

越し而も之を善用するの名士を推すべく尙將來に於て農會法と同じ法制の下に教育會法の制定を期すべきなり  
 提出問題は特に時勢に適切なるよう留意し實行不可能のものはなるべく避くるを可とす  
 最後に本會に機關新聞を發行し以て本會主張の貫徹に努むると共に各會の聯絡に便ならしむべし

決議の最も重要なものは之れが貫徹に勢力を集中し今回上程せられたる義務教育費問題、學制改善問題、又曩に議定せられたる文政審議會に初等教育者を参加せしむる問題は此際實行委員によりて之れが目的の貫徹に邁進すべく將來に向ても常に熱烈に之を繼續すべし  
 今左に以上の點を明示せんとす

- 一、地方教育會の幹部は其地方選出並に其地方に關係ある議員に對し常に密接なる關係を保ち輿論及び決議の諒解に力むべし
- 一、常置委員は常に政府當局と交渉を一層密接にして教育問題の實現に力むると共に地方教育會との報導は尙一層繁くして機宜の處置をなすに一層努むべし
- 一、陳情運動の場合には影響最も大なる府縣の幹部が熱烈なる陳情をなすは最も効果あるものと信ず
- 一、新聞の共鳴を得るは最も有効なるものなるが故に常に記者との諒解を必要とす。更に本會に機關新聞發刊し決議の宣明に任ずると共に各會の聯絡に資すべし
- 一、教育會の首腦部には政變によりて地位の變動するの士は遠慮すべし
- 一、聯合教育會の出席員の一人はなるべく同一人を充て會議の内

三浦郡教育會第一部會に於ける  
 少年赤十字講演會

三浦郡教育會第一部會に於ては其總集會を機とし去る六月十六日三時より田浦町船越尋常高等小學校に於て少年赤十字講演會を催した同日は日本赤十字社東京本社より調査部長井上圓治氏來校し少年赤十字の沿革、其の小學教育との關係、及び内外國に於ける少年赤十字の活動、狀況等に就き約二時間に亘り有益にして且つ興味ある講演あり來會者七十餘名に上り盛會裡に散會した尙ほ縣下に於ける少年赤十字團は昨年以來設立著増の傾あり本年に入りては三浦郡長浦、津久井郡名倉、日連、篠原、足柄下郡足柄、酒匂、都筑郡二俣川、高座郡鶴嶺の各小學校に設立せられ現在數二十四團を算し目下又三浦郡浦郷尋常小學校に於て設立準備中なりと謂はる。

東京音樂學校生徒

演奏參觀要項

- 一、希望團體にては豫め東京音樂學校教務課宛申込こと。
- 一、演奏參觀日は毎週木曜日とす。
- 一、當日は午後〇時より一時迄生徒の獨唱、獨奏、パイプオルガン演奏等、同一時より二時迄プリングスハイム教師の指揮に係る合唱(參加生徒數百六十名乃至二百二十名)を行ふ。
- 一、尙同校内に於て持參の辨當を使はるゝ向に對しては申出に依り學校にて湯茶の準備を爲す。

容に精通し會務の執行に便ならしむべし

- 一、時勢の進運に伴ひ聯合教育會は法人組織とし地方教育會は一面支部會として統制を保ち總裁を戴き政黨政派を超越して而も之等を善用する會長を推すべし

尙將來に於て農會法と同じく教育會法の制定を希望す

- 一、提出問題は時勢に適切なるものを撰定し實現可能の問題を主とするやう留意し之れが決議をなしたる以上は其實現に邁進すべし

一、今回の決議を見たる義務教育費の請願問題並に學制問題中青年訓練所、師範教育の兩問題更に曩に決議したる文政審議會に初等教育者を加ふべき問題は實行委員によりて之れが實現運動をはかると共に將來に於て實現を見るまで不屈不撓之れが運動の繼續をなすべし……(報告)

第十四號議案 教育記念日實行に關する件 (可決)

緊急動議

各道府縣學務部長、視學官、及視學の任用にその地位等に關し左の各項を其筋に建議すること

- (イ) 道府縣學務部長及視學官の任免は文部大臣これを司る
- (ロ) 道府縣視學の地位を高め、その名稱を改めること
- (ハ) 道府縣視學官の名稱はこれを地方督學官と改めること

提出者 三番 多田房之輔 外二九名



# 講習案内

## 第十六回國史講座(東京市)

郷土史研究の指導講習  
見學上便宜の移動講習

一會 期 八月十二日より十六日まで五日間

○第一日(十二日)午前八時より正午迄四時間

會 場 東京美術學校(電車上野公園前下車)  
博物館を左へ(二丁程)

郷土研究による金工

東京美術學校講師 香取秀眞氏

午後一時より見學——東京美術學校列品館其他

○第二日(十三日)同上

會 場 護國寺本房(電車小石川護國寺赤門前下車)

郷土研究による日本住宅史

早稻田大學校助教授 田邊泰氏

午後一時より見學——月光館其他

○第三日(十四日)同上

會 場 東京府立第六中學校(電車新宿行追分下車前十)  
郷土研究より見たる史蹟 敷軒左大通を左へ)

内務省元考官 柴田常惠氏

午後一時より見學——府中大國魂神社國分寺同尼寺趾

○第四日(十五日)同上

會 場 淺草傳法院(電車淺草雷門前下車)  
仲見世通り左)

郷土史より見たる寺院

史料編纂官文學博士 鷲尾順敬氏

午後一時より見學——淺草寺什寶繪馬小堀遠州庭西佛其他

○第五日(十六日)

會 場 東京府立第一中學校(電車平川町五丁目下車帝)  
室臨時編輯局を左へ)

郷土史研究の葉

文學博士 笹川種郎氏

正午より

一聽講證書授與並に訓辭

會長 宮中顧問官博士 井上通泰氏

一、講習料

金貳圓五拾錢

二、申込期限

昭和七年八月五日

主催申込所

東京市神田區表猿樂町二番地  
財團 奉公會  
法人 振替東京一九七八九番

# 講習案内

## 萬葉夏期講座

◇期 間 自七月三十一日 七日間 (自午前八時  
至八月六日 至正午)

◇會 場 國學院大學講堂

(省) 線 澁谷 驛  
(市) 電 青山六丁目下車  
玉川電車町役場前

◇講師及講義題目

戸田茂睡と契沖阿闍梨と

文學博士 佐々木信綱氏

金 枕 集 評 釋

醫學博士 齋藤茂吉氏

中世の萬葉研究と國學の發生

文學博士 岩橋小彌太氏

萬 葉 集 講 義(民間詩)

國學院大學教授 折口信夫氏

萬 葉 集 講 義(宮廷詩)

國學院大學教授 文學博士 武田祐吉氏

會 員 男女學歷を問はず

會 費 金 五 圓

申 込 住所、氏名、職業を明記し會費を添へて御申込み  
下さい(用紙は何にても宜しうございます)

期 限 七月二十九日迄に申込のこと

聽 講 券 申込み順に依り講義時間割を添へお送り致します

東京市外澁谷町

國學院大學

電話青山五七七七

## 夏期大講習會開催廣告

滿蒙講習會の部(開催地京都)

開催の趣旨

極東に於ける鬱勃たる新機運の必然的展開によつて滿洲國は建設せられた。この新國家の健全なる成長は、常に國內三千萬民衆の慶福たるのみならず滿蒙を以て所謂生命線となす我日本の國運に重要な結果を齎すべきことは固より明白である。即ち兩者は互に唇齒輔車の關係を有するが故に宜しく和親戮力して共存共榮の實を擧げなければならぬ。而も彼我の協調發展が眞に東洋平和の基礎を確立し進んで門戸開放、機會均等の公正なる原則により世界文明の將來に一大轉機を劃するの原動力たるは論を俟たぬ。併しながら、滿洲國は今猶草創の時代にあつて前途幾多の難關を豫想せられ、官民上下凡ゆる苦心畫策を盡して必死の奮闘を続けつゝあり。之に對し、如上の最も密接なる友邦たる我國の最善の援助と同情とを吝むべからざること勿論であるが、然らば我々は抑も如何なる信念と覺悟とを以てこの建國の大業に參與すべきであらうか。

會て南米アルゼンチン共和國の大統領と英國の一紳士との間に、「何故に天然資源の劣れる北米が、その優れる南米よりも、文化文明の隆盛を見るに至りしか」の問題が論議せられた時「北米の文化は元來英國の清教徒が理想の新天地を開拓せんがため移住して築き上げたものであるが、南米の方は唯金儲けのために移住した西班牙人によつて造られたからだ」との結論に一致したと傳へられてゐる。即ち一は目前の打算主義御都合主義に出で、一は高邁なる宗教

的信念に由る理想主義に基けるものである。この例證は、宗教的信念の有無が如何に重大なる相違をその結果に齎すかの事實を直截に物語るものとて深く味ふべき事柄である。

翻つて我日本は、天祖の神勅を奉じて萬世一系の皇室を戴き、惟神の大道によつて建國の理想を樹立してゐる。即ち崇高深遠なる宗教的信念を根柢として祭政一致の徳治主義の下に四海同胞、共存共榮の大義を布くことが我が大和民族の理想たり將た使命たる所であつて、これぞ古今に通じて誤らず中外に施して悖らざる世界無比の皇道である。今、新興滿洲國に對する我國民の協力も一にこの皇道を基本とするものであらねばならぬ。

### 國文學講習會

一、期日 自七月二十九日 至八月二日(五日間)

—— 毎日午前八時より午後三時に至る ——

一、會場 愛知縣第一高等女學校講堂

題目及び講師

▼再び所謂目的格をあらはす「が」に就いて  
京大教授 文學博士 吉澤義則氏

▼忘れられたる國語學史の問題について  
同 氏

▼燕村と太祇  
愛知醫大講師金城女專講師 石田元季氏

▲蜻蛉日記講義  
愛知一師教諭 岡田稔氏

▼現代文學(新藝術派以後の文學)  
愛知縣第一高女教授 山崎敏夫氏

▼近世和歌講義(加納諸平を中心として)  
第八高等學校教授 石井直三郎氏

▼支那小説と讀本  
東京女高師文學博士 尾上八郎氏  
適當の日に於いて文檢(中等教員、高等教員)受験懇談會を催し同志の研究交驛を期す(合格者多數出席)

主催 教化振興會  
京都帝國大學青柳博士氣付  
信濃通俗大學會  
東京麹町區元園町  
加藤博士氣付

後援 大阪毎日新聞社  
大阪朝日新聞社

一、日 時  
昭和七年自八月八日、至同二十五日、自午前七時卅分  
至午後三時卅分(科外講演は臨時に之を行ふ)

第一期 自八月八日、至十三日六日間  
第二期 自八月十四日至十九日六日間  
第三期 自八月廿日、至廿五日六日間

二、會場  
京都帝國大學講堂(京都市吉田町電車。市電東一條若しくは百萬遍下車)

### 滿蒙事情現地講習會

一、期 日 八月七日より

二、場 所 大連—三日間—午前中講演(彌生高等女學校にて)  
午後現地(滿蒙資源館、中央見學講話試驗場、大連埠頭)  
滿鐵沿線現地見學—約五日間

三、講習要項

(甲) 講演題目

滿蒙の資源 — 鐵産

の經濟事情

の鐵道政策

の外交關係

の行政一斑(滿鐵事業一斑、關東州行政一斑)

(乙) 見學主要地及現地講演

旅順、撫順、奉天(講演—事變の經過)

長春(講演—新興滿洲國につき) 哈爾濱

一、聽講料 金參圓  
早く願ひます 止むなく手續が  
二、携帶書籍 必要なし  
おいて下されば非常によく通知して  
三、宿 泊 指定旅館あり(一泊一圓位)  
名古屋市中區長池町三の十九

申込所 名古屋國文學會  
振替名古屋一七〇二七

四、講 師 滿鐵、關東廳、軍司令部、滿洲國各關係の權威者  
に依嘱

五、會 員 初等、中等教育關係者を主體とす

六、申込、期限、箇所及方法  
七月十日迄に著する様、大連市兒玉町七南滿洲教育會編輯部内  
國本小太郎宛、但期限内たりとも過多なる場合には入會を拒絶  
することあるべし

一、申込書は往復はがきにて「滿蒙事情現地講習會入會申込」  
の十三文字及び住所又は所屬と氏名を記入のこと  
但二名以上連記の場合は代表者を定め記入ありたし

一、返信用の部にも貴名住所を書き込み置かれたき事  
一、大連に於ける旅館の御世話を要せらるゝ方は右はがきに、「  
旅館希望」の四文字を、又大連に於ける講演のみに申込ま  
るゝ方は同じく「大連のみ」の四文字を、尙下關以後の日程  
を全然左記の日程に依らるゝ方は「全日程」の三文字を御記  
入の事

七、入會の諸否は右返信用はがきにて七月十五日迄に發送する管  
八、備 考

○八月四日午前十一時下關—ウスリイ丸出帆……六日大連着

○團體としての旅程概要  
八月七、八、九日—大連にて講習、十日より沿線—

○此の旅程中の費用概算(下關發着)  
總費用一人當約百二十圓(但百人以上の團體と見て)

内 譯 一、船車賃(三等) 約 四十圓  
一、寢臺、急行 約 九圓

- 一、宿 泊 料 約三十五圓
  - 一、食 事 辦 當 約二十圓
  - 一、車 馬 賃 約七圓
  - 一、雜 費 約十圓
- 注 意 事 項
- 一、身分證明及び船車賃割引券を數葉餘分に携帯の事
  - 一、税關の検査(携帶品の制限)要塞地帯の撮影禁制、標準的の變更等に御注意の事

### 南滿洲教育會

第十三回  
理科教育  
夏季講習會  
主 催 理科教育研究會

講師及講義題目並要項

- (一) 理科學習の心理的考察 安 東 壽 郎
- (二) 膨 脹 する 宇 宙 竹 内 時 男
- (三) 病害動物特に病害筋足蟲類に就て 山 田 信 一 郎
- (四) 小學校理科教材の批判 堀 七 藏

- (五) 産業振興と科學博物館 東京科學博物館長 督學官 秋 保 安 治
  - (六) 科學博物館に於ける物理に關する陳列品 東京帝國大學名譽教授理學博士 中 村 清 二
  - (七) 科學博物館と理科教育 東京科學博物館學藝官 森 金 次 郎
  - (八) 理科教育の歸結 東京府青山師範學校教諭 中 泉 正 雄
- 一、會 期 昭和七年八月一日より五日間  
二、會 場 東京帝國大學文學部  
三、會 費 金貳圓也 振替口座東京三九九貳壹番理科教育研究會宛に拂込  
四、申込方法 理科教育夏季講習會入會申込  
五、申込所 東京市小石川區雜司ヶ谷町八十七、理科教育研究會宛

### 京都帝國大學講演會

本學に於て來る八月一日より第二十三回講演會を開く聴講希望者は左記要項參照七月二十日限り申込まるべし  
昭和七年五月

要 項  
一、本會は各種學科の知識を普及するを以て目的とす  
京 都 帝 國 大 學

- 一、聴講者の資格は別に之を定めずと雖も本會に於て不適當と認むる者は之を謝絶することあるべし
- 一、講演終了後聴講日數其他を査定し證明書を授與す
- 一、聴講希望者は職講料として滿蒙講座は一科目と看做し金參圓其他は一科目につき金貳圓を添へ申込まるべし
- 但し申込書には職講科目、現住所、年齢、業務及姓名を明記し宛名は京都帝國大學講演會とすること
- 一、既納の聴講料は開講せざる場合の外之を返付せず
- 一、期限内と雖も満員の節は申込を謝絶することあるべし
- 一、宿泊所に就て申出あるときは成るべく便宜を計るべし
- 一、講演科目講師及時間割等左の如し

### 輕井澤夏季大學案内

第拾 五回  
主 催 長野縣、通俗大學會

英語講座 期間十日間 自八月一日至八月十日  
公民科講座 期間八日間 自八月十三日至八月二十日

入 會 案 內

一、聽 講 料 英語講座は金五圓(公民科講座は金四圓此聽講料は返却せず)

一、申 込 金 金 貳 圓 公民科は申込金なし

一、宿泊及滞在 大學附屬の寄宿舎あり、賄料は一日一人三食附金壹圓、合費——寢具、蚊帳、入浴費其他合せ

### 第七回尋正養成講習會

△會 期 昭和七年八月一日より約三週間(休日なし)毎日午前八時より午後三時まで  
△會 場 秋田縣女子師範學校  
△講習書目 教育(三十五時間)理科(四十五時間)數學(四十時間)課外講習(音楽)  
△受講資格 府縣男女を問はず現に准代用教員の職にあり又は高等小學卒業以上の學力あるもの  
△申込期日 講習願書(書式任意)簡單なる履歷書を添へ昭和七年七月廿三日まで秋田縣教育會に提出すること

△講習料 參圓五拾錢(たとへ一科目でも)申込と同時に拂込むべし 但し定員に達せざるときは中止する其の際に限り講習料を返還する

通 俗 大 學 會



課外の講習を受けんとするものは更に五拾錢の講習料を納むべし其旨講習願書に朱書すべし講習修了者に對しては受講時數に應じ講習證書を交付する

△檢定試験

本講習終了後直ちに本縣施行の檢定試験に應じ得る便宜あり

△講習用書

本縣指定の檢定参考書に依る(講習會初日會場に於て應需する)

△宿 泊

講習並檢定試験期間は一泊三飯付(蚊帳寢具共)壹圓以内にて周旋するまた女子の爲には女子技藝學校寄宿舎を開放して宿泊自炊の便利あり、希望者は願書に此旨記入すべし

△時間割其他

時間割は七月末講習許可通知と共に送る

昭和七年六月

主催 秋田縣教育會

秋田市西根小屋町上町  
振替口座東京一七五〇三

第十 現代家事及裁縫

夏季講習會

家事科

榮養學の發展

榮養研究所技師 原 徹 一

經濟 榮養論

榮養研究所囑託東京女高師講師 藤本薰喜

榮養改善の方法

榮養研究所技師 醫學博士 杉本好一

食物の嗜好教育

榮養研究所技師 結核豫防協會評議員 黒田理

學校給食論

榮養研究所技師 原 徹 一

新滿洲國民の生活内容

家事科教師のために 日本大學教授 後藤朝太郎

勞作教育と家事科

東京帝國大學助教授文學博士 入澤宗壽

衣類整理の科學的研究

奈良女子高等師範學校教授 石澤吉麿

裁縫科

裁縫科

裁縫教育の心理的考察

東京帝國大學助教授 青木誠四郎

勞作教育と裁縫科

東京帝國大學助教授文學博士 入澤宗壽

裁縫教育上の新問題

東京家政專門學校教授 山本キク

洋服考案の要件と其指導法

奈良女子高等師範學校教授 穴戸みや

見 學(兩科共通)

陸軍千住製絨所

毛織物及びフェルトの製造工程に付講演並に實地見學を爲し

家事裁縫教育の資料とす

一、貴 衆 兩 院

兩院の組織及び設備等に付精細なる見學を爲し立憲女性の公

民的政治的修養の參考とす

講習會要項

時間割及講習料

八月	家事科	裁縫科
八時—十時	原 先生	青木先生
十時—十二時	藤本先生	青木先生
一日	杉本先生	入澤先生
二日	後藤先生	山本先生
三日	後藤先生	山本先生
四日	黒田・原先生	山本先生
五日	石澤先生	穴戸先生
六日	陸軍千住製絨所見學	貴衆兩院見學

七月二十八日迄に振替用紙に希望學科目其他を記入し講習料を添へ

◆申込法

七月二十八日迄に振替用紙に希望學科目其他を記入し講習料を添へ

◆會 費

家事科、裁縫科各一科に付金四圓、兼修七圓とす

◆會 場

牛込辨天町牛込高等女學校講堂(早稻田小學校前)

◆申 込 法

七月二十八日迄に振替用紙に希望學科目其他を記入し講習料を添へ

◆會 場

牛込辨天町牛込高等女學校講堂(早稻田小學校前)

◆申 込 法

七月二十八日迄に振替用紙に希望學科目其他を記入し講習料を添へ

◆會 費

家事科、裁縫科各一科に付金四圓、兼修七圓とす

◆會 場

牛込辨天町牛込高等女學校講堂(早稻田小學校前)

◆申 込 法

七月二十八日迄に振替用紙に希望學科目其他を記入し講習料を添へ

◆會 費

家事科、裁縫科各一科に付金四圓、兼修七圓とす

◆會 場

牛込辨天町牛込高等女學校講堂(早稻田小學校前)

◆申 込 法

七月二十八日迄に振替用紙に希望學科目其他を記入し講習料を添へ

◆會 費

家事科、裁縫科各一科に付金四圓、兼修七圓とす

◆會 場

牛込辨天町牛込高等女學校講堂(早稻田小學校前)

◆申 込 法

七月二十八日迄に振替用紙に希望學科目其他を記入し講習料を添へ

◆會 費

家事科、裁縫科各一科に付金四圓、兼修七圓とす

◆會 場

牛込辨天町牛込高等女學校講堂(早稻田小學校前)

尋常小學唱歌講習會要項

會 場 東京音樂學校

會 期 昭和七年 自八月三日 自午前八時 至八月六日 每日 至正 午四時間

講習事項 尋常小學唱歌の練習と其取扱方並に發聲法の指導

教材文部省新訂尋常小學唱歌及本會編新尋常小學唱歌

講 師 東京音樂學校教授 船橋 榮 吉氏

同 助教授 木下 保氏

同 助教授 淺野千鶴子氏

講習員 各府縣師範學校教員及小學校教員 貳百名

會 費 金參圓(申込と同時に納付を要す)

但幼稚園小學校體育ダンス受講者は金貳圓

申込方法 職、氏名、男女別を明記し會費を添へ正員希望者は地方長官に補員希望者は本會に申込むこと  
 會費受領と同時に聴講券を送付する  
 一旦領收した會費は如何なる事情があつても返還せず  
 定員に満ちた場合は期日前でも申込を謝絶する  
 昭和七年七月二十七日  
 申込期日  
 宿泊所 希望者には適當の箇所を指定する  
 昭和七年六月

主催 日本教育音楽協會  
 東京音楽學校内・振替東京三〇八二  
 後援 文 部 省  
 東京音楽學校

### 幼稚園、小學校 體育ダンス講習會

會 場 東京音楽學校  
 會 期 昭和七年 自八月三日 自午後一時 四日間  
 至八月六日 至同 五時  
 講習事項 本會編纂新幼稚園唱歌及新尋常小學校唱歌につき新作した幼児児童に最も適應する體育ダンス  
 講 師 東京府青山師範學校訓導 澁井二夫氏  
 同 豊島師範學校訓導 宮寺嘉一氏

講習員 各府縣師範學校教員及小學校教員並幼稚園保母 百名  
 會 費 金貳圓 但し尋常小學校唱歌講習受講者は金壹圓  
 申込方法 職、氏名、男女別を明記し會費を添へて申込むこと  
 會費受領と同時に會員券を送附す  
 一旦領收した會費は如何なる事情があつても返還せず  
 定員に満ちた場合は期日前でも申込を謝絶する  
 昭和七年七月二十七日  
 申込期日  
 宿泊所 希望者には適當の箇所を指定す  
 昭和七年六月

主催 日本教育音楽協會  
 東京音楽學校内・振替東京三〇八二  
 後援 東京音楽學校

### 日本中等教育數學會 第十四回總會

一、會 期 昭和七年七月二十九日三十日廿一日  
 一、會 場 香川県高松第一中學校  
 一、事 業 講演、研究發表、協議題、談話題、入學試験問題批評、教授用具、圖書の陳列、見學等  
 中等學校數學科擔任教員の多數出席を希望せらる。

### ○會計係から

職員録代金前年度分、未送の向きは至急に御送金下さい、郡市別未納數は左の如し。  
 横濱市六、横須賀市一、橘樹二、都筑三、三浦一、高座五、中郡三、下郡一、愛甲一、津久井一、  
 教育會雜誌代前年度分、未納の向きは御送金下さい。  
 御催促を度重ねても御送金なき時は今度は尊校名を雜誌に掲載して御注意を喚起することに致したいと存じます  
 五回も六回もの郵便では手數のかかることが夥しいので困りますから、豫めお断り致しておきます。  
 雜誌等に未納校名を掲げた例は他にもその例がありますので、お互に便利と思ふのでありますから。

### ○編輯後記

句會は、次回を九月發表にしたいと思ひ、兼題を見合せました、次號を七月二十日頃迄に發行する計畫ではありますが、それができたなら次號に掲げることになります。

### ○本年の夏季學習帖は

學習帖は目下、印刷九分通進行してありますので、可成前年より早く配本する考へてをります。  
 本年のは誤謬、誤植等は先づ殆どあるまいと言ふ自信が持て相です。  
 充分に御利用下さい。

### ○職員録は

本年は、早く配本されると思ひます  
 注文洩れのないやう願ひます。製本部數を節約したので、注文おくれには、品切れとなるかも知れません。  
 御注意まで

本誌定價	一部 金貳拾五錢
一年分前納	金貳圓五十錢

特別頁	一頁 十圓	半頁 五圓
普通頁	一頁 五圓	半頁 三圓
三ヶ月以上連續掲載		三割引
六ヶ月以上連續掲載		五割引

昭和七年六月二十八日印刷  
 昭和七年六月三十日發行

本誌廣告料  
 發行所 神奈川縣教育會  
 振替貯金口座東京三三三番  
 編輯人 横濱市鶴見區東寺尾町千五百八十番地  
 吉田清太郎  
 印刷人 横濱市中區住吉町五丁目五十八番地  
 鈴木清五  
 印刷所 横濱市中區住吉町五丁目五十八番地  
 横濱活版舎  
 (電話長沼町〇七五六番)

## ◎教便物蒐集依頼狀

△加奈陀は英帝國の一自治領でありまして面積は三百五十萬哩人口は約一千萬人を有して居ります。  
△この加奈陀に在留する日本人は約二萬二千人でその大部分は太平洋沿岸のブリラツシ、ユコロンビヤ州に住んで居ります。  
△右日本人の中約四千五百人の子弟は加奈陀の公立學校に通學し英語による義務教育、公民教育を受けて居ります。  
△而してこれ等子弟の大部分は公立學校の放課後更に吾が日本語學校に通學して日本語を學習して居ります。  
△吾が日本語學校は毎日午後四時から五時半まで約一時間半日本語の教授をいたして居ります。故に日本人の子弟は晝間は公立學校で一般的教育を受け更に夕刻より日本語學校に於て日本語を學習することになります。  
△所が英語國に育ち英語を常用語とする吾が子弟にとつては英語による學習が非常に容易であるのにかゝらず、日本語の學習は甚だ困難を感じて居ります。  
△而しながら吾々は何とかして本校の成績をより

よくしたいものと多方面よりの研究を怠らないのであります。  
△茲に兒童をして日本語の學習を容易ならしめ且つは日本國及び日本人を理解せしめる一手段として教便物の蒐集を計畫して居ります。  
△これがために日本各地の公團體の御援助を仰ぎたいと唐突ながらかくは書面によつて御願ひいたす次第でございます。  
△就ては右御含みの上貴地方に於ける名所繪はがき、寫眞又は寫眞帖、標本類等を左記宛御惠贈下さるやう御依頼申上げます。  
△尙本校は現在兒童生徒數千人、これを尋常一年程度より中等科程度に至る二十一學級に編成して居ります。教科書は日本文部省の尋常小學國語讀本、同高等小學讀本。保科孝一著昭和國語讀本を使用して居ります。以上

英領加奈陀<sup>バンクーバー</sup>香城市日本公立語學校長

佐藤 傳

T. Sato

Japanese Language School  
476 Alexander St., Vancouver B. C.

## 昭和七年度

### 神奈川縣教育關係者職員録

實費送料共

金五拾錢

例年の通、昭和七年版を編纂し、本年七月下旬配本の豫定であります、製本部數の關係もあります故、御入用の向きからはなるべく速く御注文の申込をお受け致したいと存じます。

前年は四百部餘分に製本致して置きました處、第三學期には全部品切れとなり其の後の注文には遺憾ながら應じ得なかつた事から本年は可成申込期限内に洩れなく願する事に願ひたいと存じます。

申込所は左記へ

神奈川縣廳教務課内

神奈川縣教育會事務所

横濱  
産場  
圖

不  
收  
名

